

令和6年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
概要版

令和6年12月

大田区

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査設計	1
3	報告書の見方について	1
II	①施策における満足度及び重要度に関する調査	2
1	施策の重要度・満足度について	2
III	②施策における指標の現状値に関する調査	7
1	基本目標1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち	7
2	基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち	10
3	基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち	25
4	基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち	26
IV	③各種計画に掲げる施策の検証に係る調査	32
1	SDGsについて	32
2	ふるさと納税について	35
3	各種認知度について	36
4	自治会・町会について	39
5	キャッシュレスについて	40
6	普段の生活について	41
7	喫煙について	42
8	まちづくりについて	43
9	『羽田イノベーションシティ』について	45
10	羽田空港跡地について	46
11	食品ロス・フードドライブについて	48
12	教育について	51
13	公園について	52
14	自転車について	53
15	自治体経営について	56

I 調査の概要

1 調査の目的

新たな基本計画策定の基礎資料及び各種計画に掲げる施策の検証並びにより効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査設計

調査地域	大田区全域
調査対象	大田区内に居住する満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）
標本数	6,000 人 下記①～③の各調査：各 2,000 人
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調査期間	令和 6 年 8 月 1 日～令和 6 年 8 月 22 日
有効回収数	① 施策における満足度及び重要度に関する調査 671 件（郵送 464 件＋電子申請 207 件） ② 施策における指標の現状値に関する調査 713 件（郵送 445 件＋電子申請 268 件） ③ 各種計画に掲げる施策の検証に係る調査 660 件（郵送 418 件＋電子申請 242 件）
有効回収率	① 施策における満足度及び重要度に関する調査 33.6% ② 施策における指標の現状値に関する調査 35.7% ③ 各種計画に掲げる施策の検証に係る調査 33.0%

3 報告書の見方について

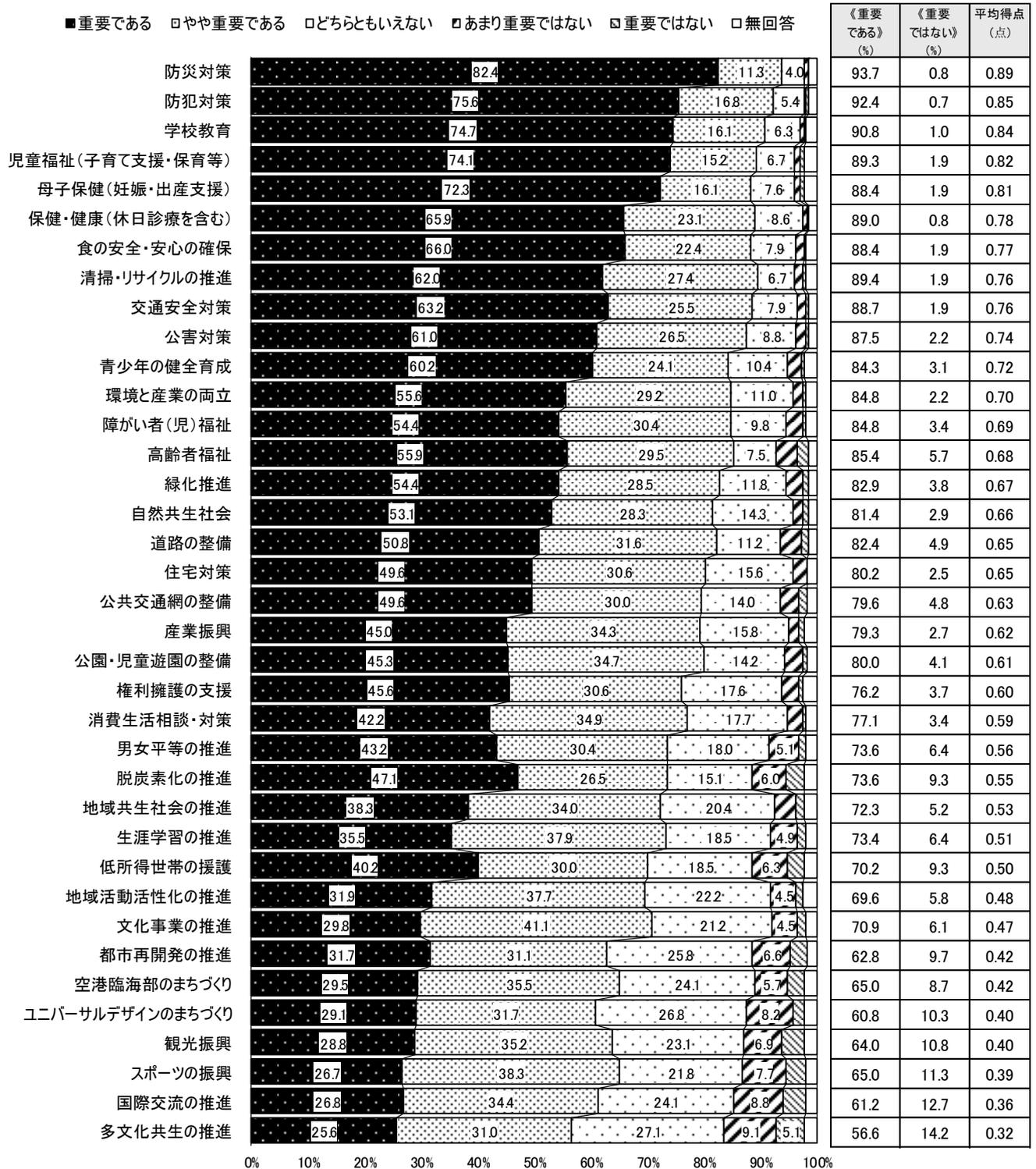
- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査の結果の比率は、その設問の回答者を母数として、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記してある。このため、その合計値が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- (4) 図表及び本文中では、選択肢を一部省略した表現としている場合がある。

Ⅱ ①施策における満足度及び重要度に関する調査

1 施策の重要度・満足度について

(1) 重要度

問 大田区の施策の中で、引き続き重点的に取り組む施策（重要度）について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。（それぞれ1つのみ）
 ※「1」～「37」の施策についてそれぞれ回答してください。



※《重要である》は「重要である」「やや重要である」の合計値
 《重要ではない》は「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計値

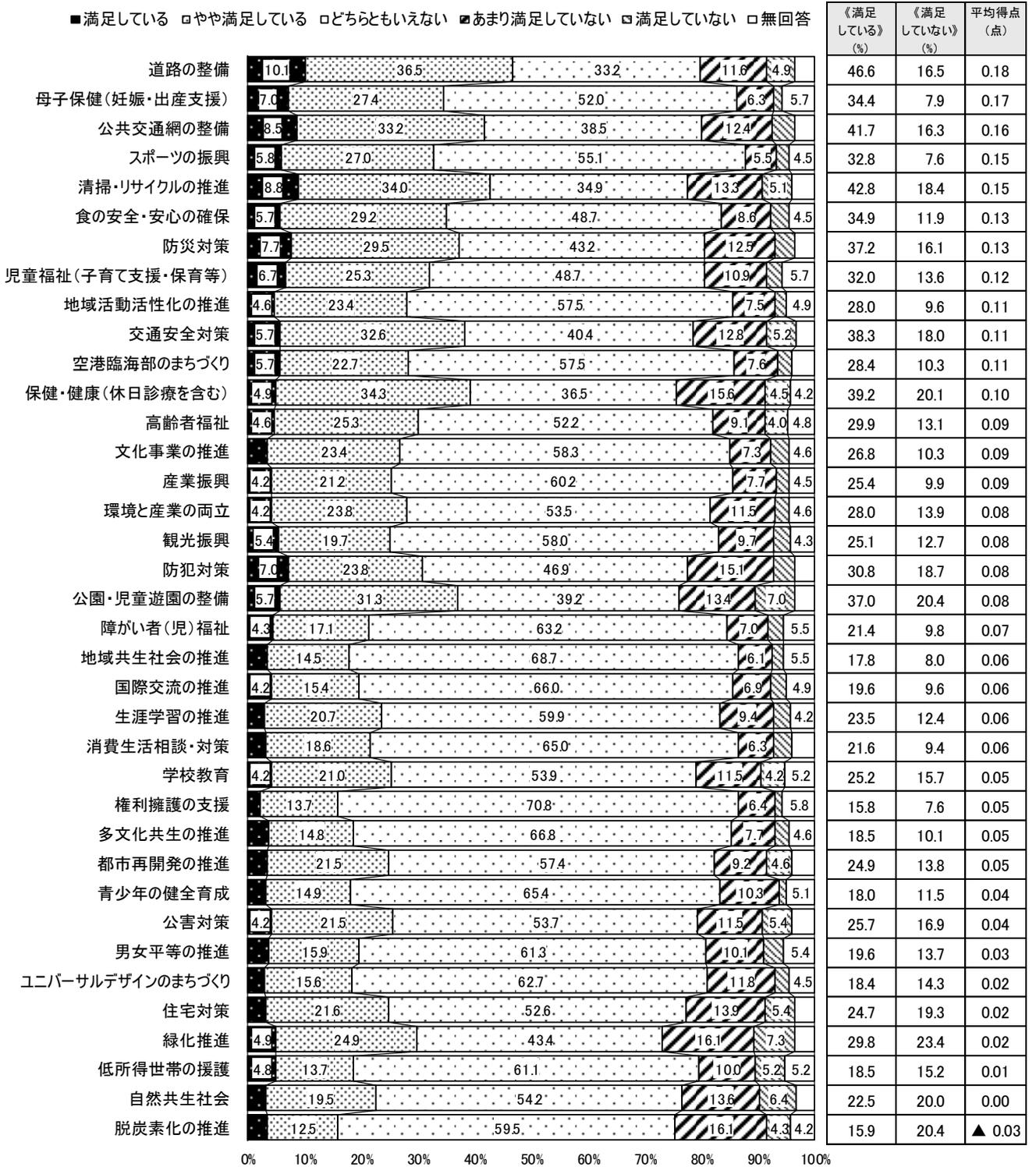
区の各施策について、重要度を5段階で評価してもらい、平均得点※を算出した。
重要度が最も高かったのは、「防災対策」(0.89)で、次いで「防犯対策」(0.85)、「学校教育」(0.84)、
「児童福祉(子育て支援・保育等)」(0.82)となっている。

※平均得点の算出方法

$$\text{平均得点} = \frac{\begin{aligned} & (\text{重要ではない} \times -1.0\text{点}) + (\text{あまり重要ではない} \times -0.5\text{点}) + (\text{どちらともいえない} \times 0.0\text{点}) \\ & + (\text{やや重要である} \times 0.5\text{点}) + (\text{重要である} \times 1.0\text{点}) \end{aligned}}{\text{回答者数}-\text{無回答}}$$

(2) 満足度

問 大田区の施策の中で、現在の満足度について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つのみ)
 ※「1」～「37」の施策についてそれぞれ回答してください。



※《満足している》は「満足している」「やや満足している」の合計値
 《満足していない》は「あまり満足していない」「満足していない」の合計

区の各施策について、重要度と同様に5段階で評価してもらい、平均得点^{*}を算出した。
満足度が最も高かったのは、「道路の整備」(0.18)で、次いで「母子保健(妊娠・出産支援)」(0.17)、
「公共交通網の整備」(0.16)となっている。一方、低くなっているのは「脱炭素化の推進」(-0.03)、
「自然共生社会」(0.00)、「低所得世帯の援護」(0.01)となっている。

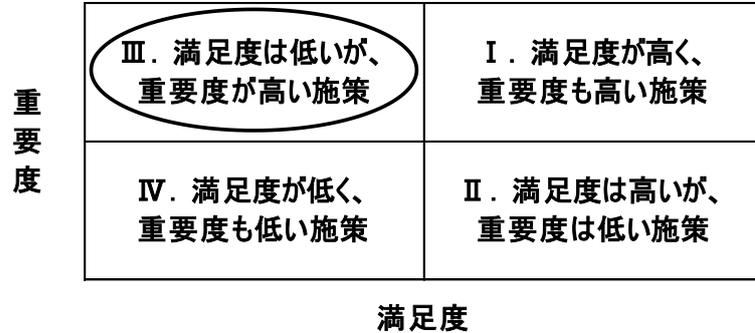
※平均得点の算出方法

$$\text{平均得点} = \frac{\begin{aligned} &(\text{満足していない} \times -1.0\text{点}) + (\text{あまり満足していない} \times -0.5\text{点}) + (\text{どちらともいえない} \times 0.0\text{点}) \\ &+ (\text{やや満足している} \times 0.5\text{点}) + (\text{満足している} \times 1.0\text{点}) \end{aligned}}{\text{回答者数}-\text{無回答}}$$

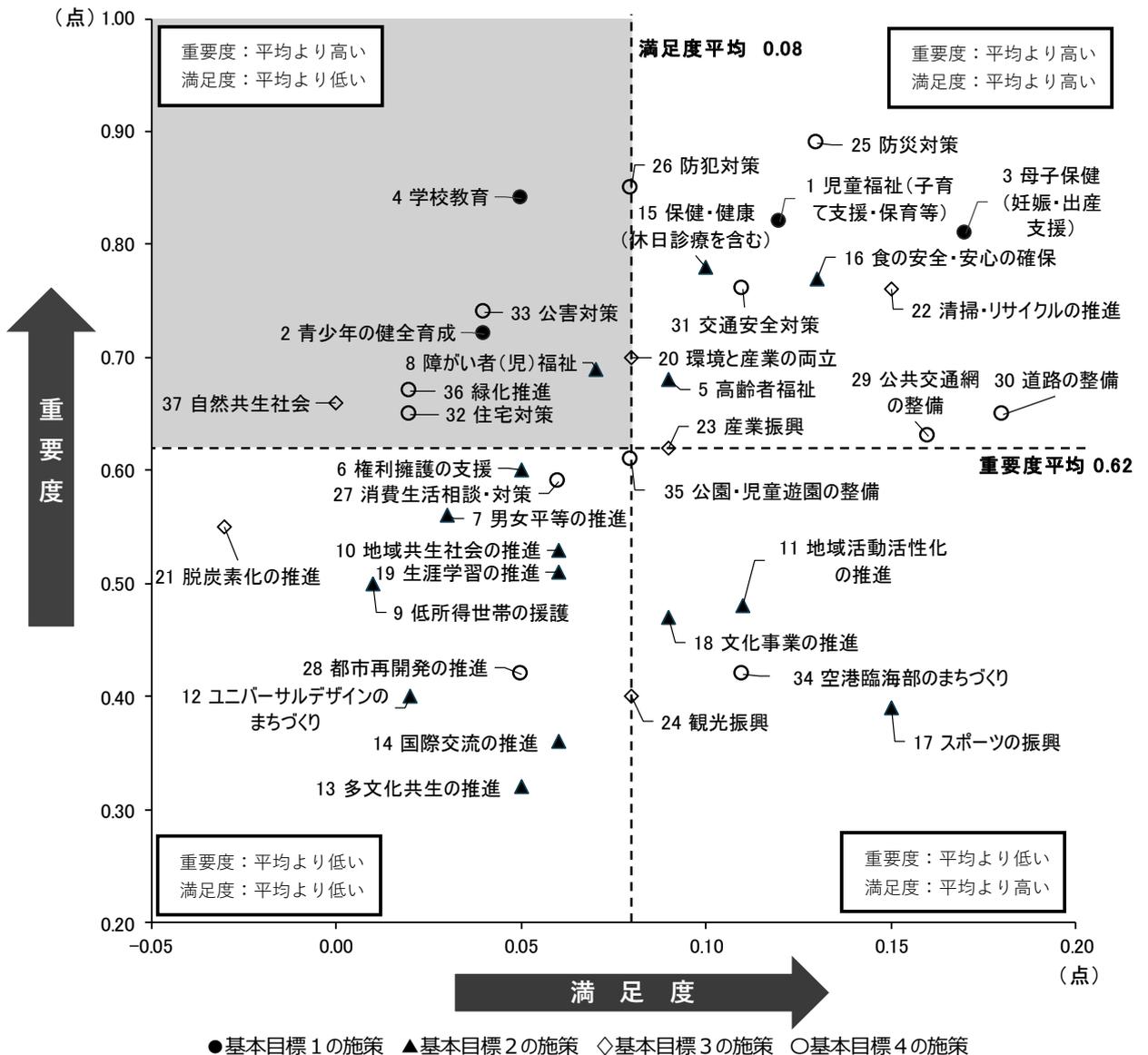
(3) 重要度と満足度

重要度を縦軸、満足度を横軸にとり、2軸4象限の図（マトリックス評価）で分析をした。

各象限を表す領域線はそれぞれの平均値とし、下図の象限に該当した項目の重要度および満足度の高低については、全体の平均値と比較して高い・低いとなっている。



図のIIIの部分にプロットされたものは、満足度は低いが高重要度は高いとみられている施策であるため、今後の取り組みについて、より検討が必要であると考えられる。



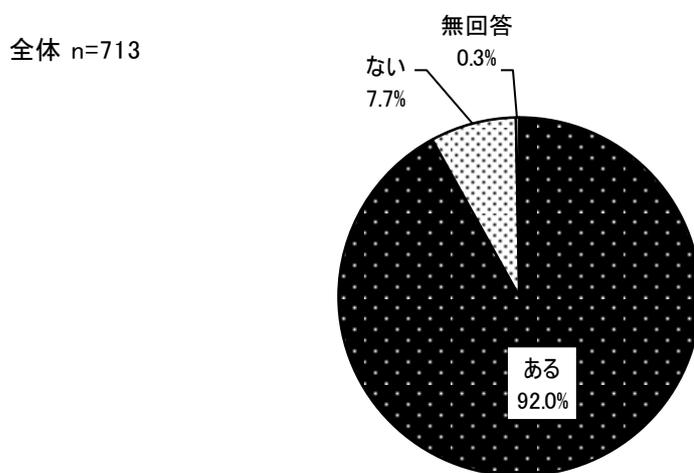
Ⅲ ②施策における指標の現状値に関する調査

1 基本目標1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

(1) 居場所の有無

問1 (自宅を含めて)自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じたりする居場所がありますか。(1つのみ)

(自宅を含めて)自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じる居場所の有無については、「ある」は92.0%、「ない」は7.7%と、「ある」が84.3ポイント上回っている。



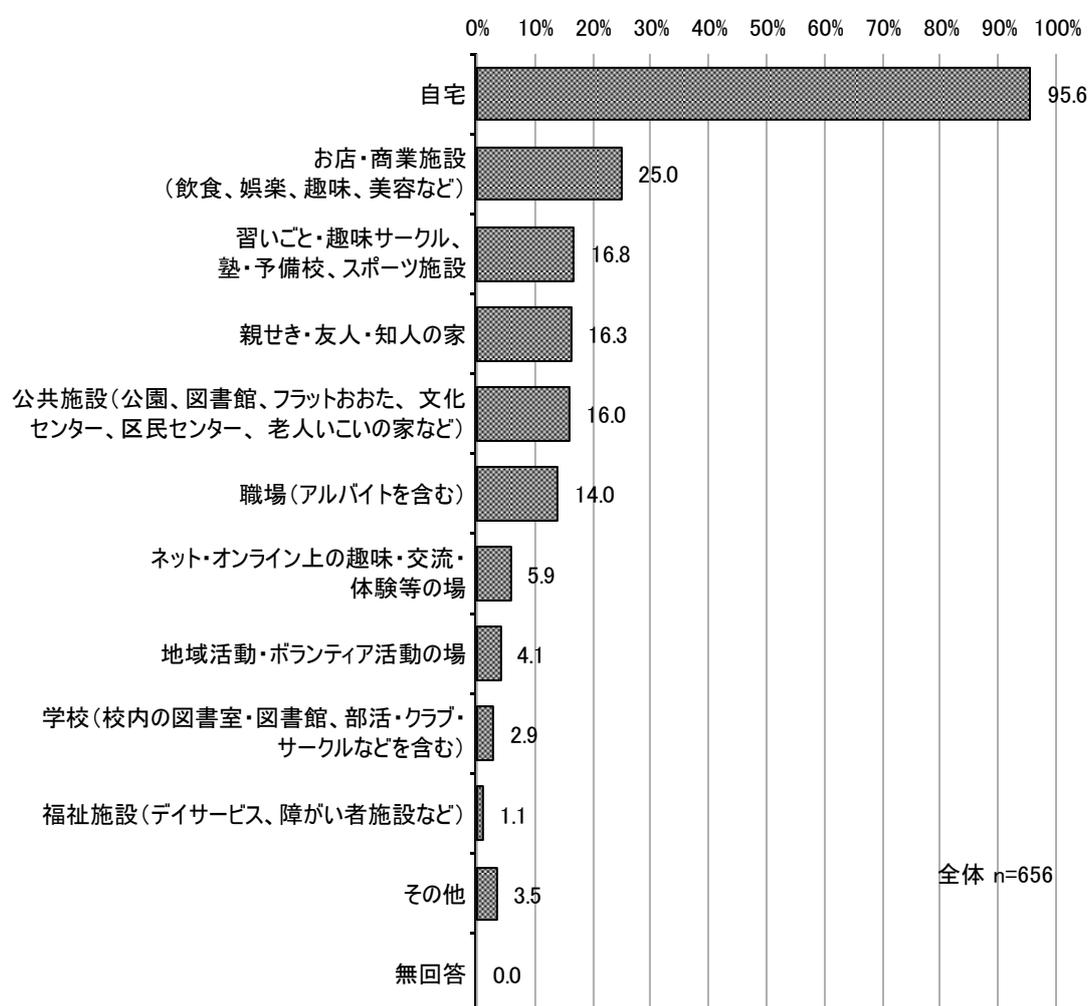
(2) 具体的な居場所

【問1 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問1-1 次の中から当てはまる居場所はどこですか。(複数選択可)

具体的な居場所については、「自宅」が95.6%で最も高く、次いで「お店・商業施設(飲食、娯楽、趣味、美容など)」が25.0%、「習いごと・趣味サークル、塾・予備校、スポーツ施設」が16.8%となっている。

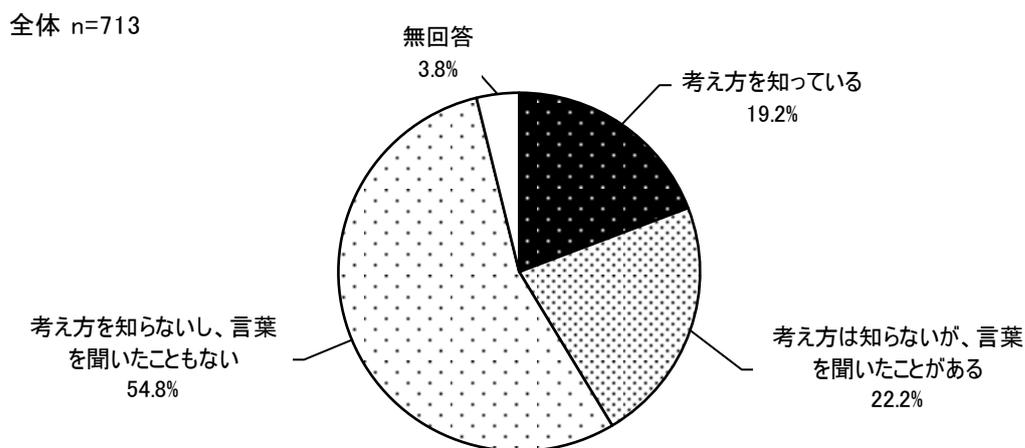
居場所が複数箇所ある(2つ以上回答した)人は59.9%、1箇所のみは39.8%となっている。



(3) 「社会的包摂」の認知度

問2 大田区では、子どもたちを誰一人取り残さないよう、子どもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべての子どもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

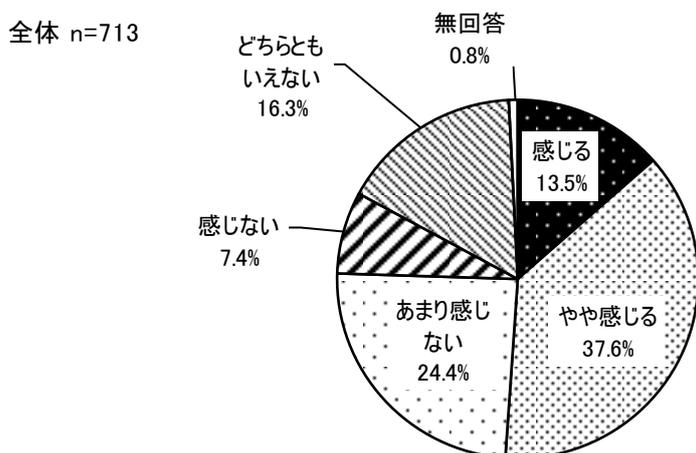
「社会的包摂」の認知度については、「考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない」が54.8%で最も高く、次いで「考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある」が22.2%、「考え方を知っている」が19.2%となっている。



(4) 子ども・子育て家庭の見守り

問3 お住まいの地域は子ども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じますか。(1つのみ)

お住まいの地域は子ども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は51.1%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は31.8%と、《感じる》が19.3ポイント上回っている。



2 基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

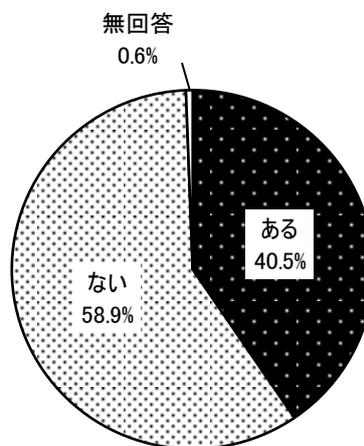
(1) 最近1年間の生涯学習の有無

問4 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

※生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、こども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

最近1年間の生涯学習の有無については、「ある」が40.5%、「ない」が58.9%と、「ない」が18.4ポイント上回っている。

全体 n=713



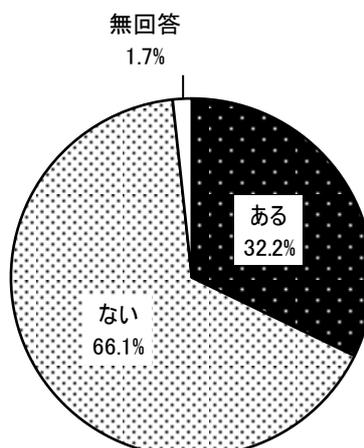
(2) オンラインによる生涯学習の有無

【問4 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問4-1 あなたは、オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

オンラインによる生涯学習の有無については、「ある」が32.2%、「ない」が66.1%と、「ない」が33.9ポイント上回っている。

全体 n=289

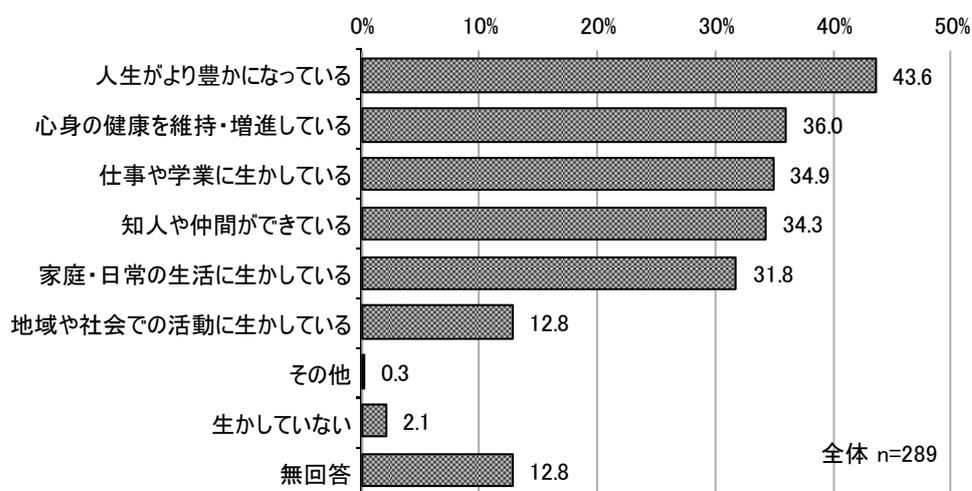


(3) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること

【問4 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問4-2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。(複数選択可)

生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていることについては、「人生がより豊かになっている」が43.6%で最も高く、次いで「心身の健康を維持・増進している」が36.0%、「仕事や学業に生かしている」が34.9%、「知人や仲間ができています」が34.3%となっている。

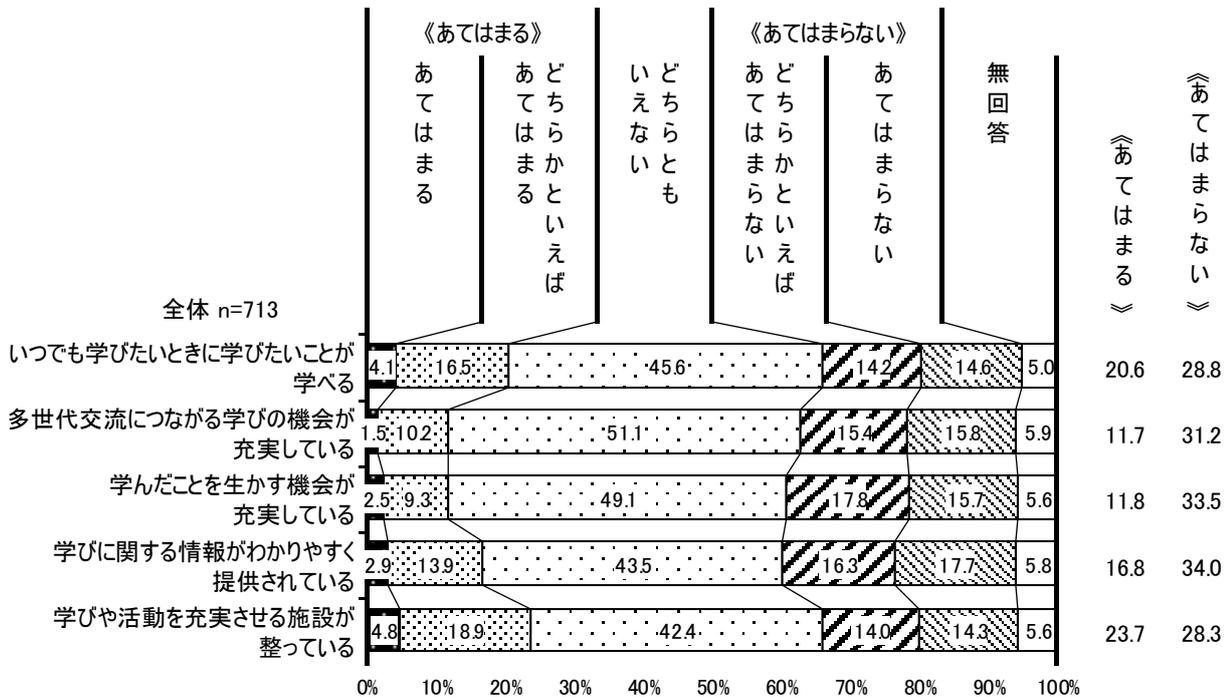


(4) 生涯学習の充実度

問5 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つのみ)

- ①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる
- ②多世代交流につながる学びの機会が充実している
- ③学んだことを生かす機会が充実している
- ④学びに関する情報がわかりやすく提供されている
- ⑤学びや活動を充実させる施設が整っている

生涯学習の充実度について、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は【学びや活動を充実させる施設が整っている】が23.7%で最も高く、次いで【いつでも学びたいときに学びたいことが学べる】が20.6%、【学びに関する情報がわかりやすく提供されている】が16.8%となっている。

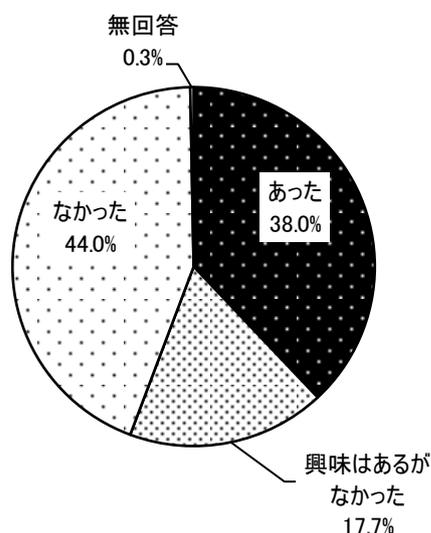


(5) 区の文化や歴史に触れる機会の有無

問6 あなたは、これまでに区の文化や歴史に触れる機会がありましたか。(1つのみ)

区の文化や歴史に触れる機会の有無について、「なかった」が44.0%で最も高く、次いで「あった」が38.0%、「興味はあるがなかった」は17.7%となっている。

全体 n=713



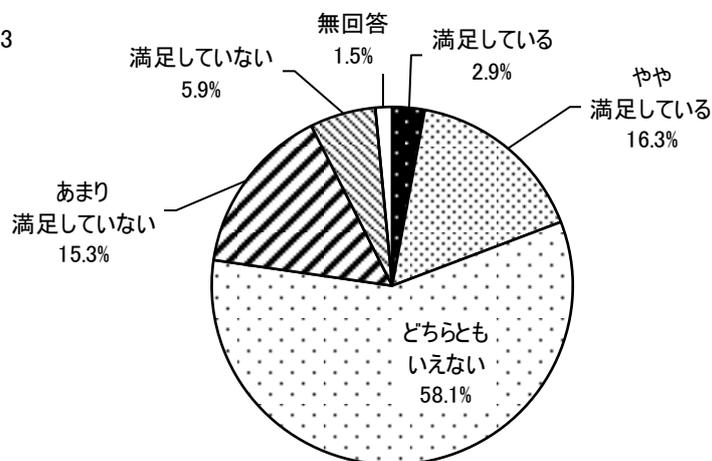
(6) 区の文化芸術に親しむ環境への満足度

問7 あなたは、区の文化芸術に親しむ環境に満足していますか。(1つのみ)

区の文化芸術に親しむ環境への満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は19.2%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は21.2%と、《満足していない》が2.0ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は58.1%となっている。

全体 n=713

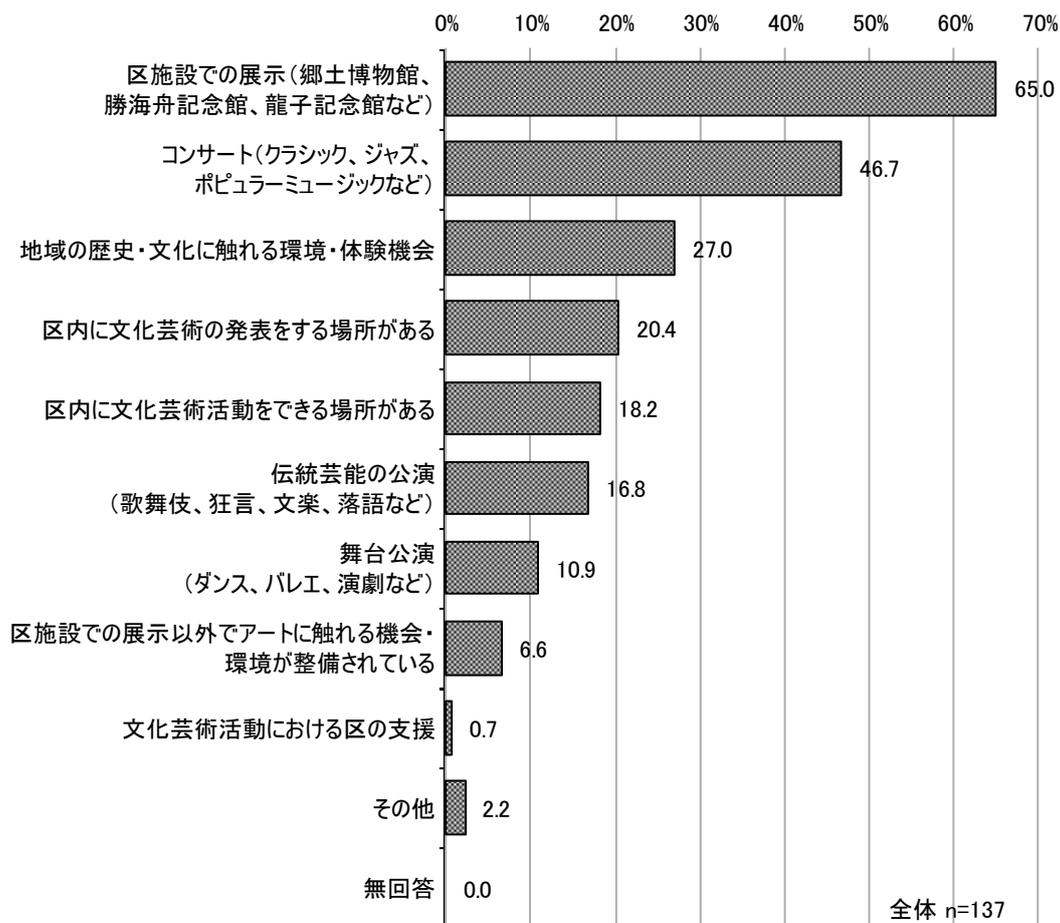


(7) 満足している文化芸術施策

【問7 で「1 満足している」又は「2 やや満足している」と回答した方に伺います。】

問7-1 区のどの文化芸術施策に満足していますか。(複数選択可)

満足している文化芸術施策については、「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」が65.0%で最も高く、次いで「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が46.7%、「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が27.0%となっている。

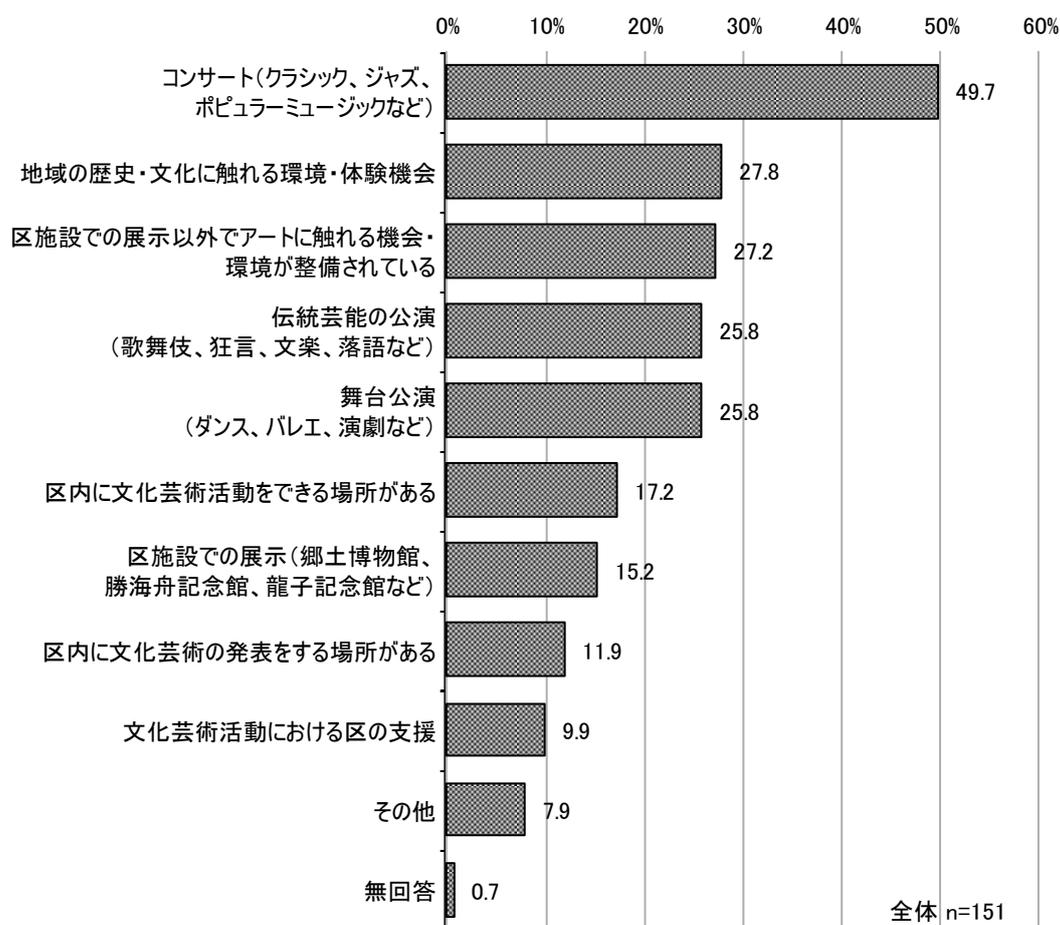


(8) 期待する区の文化芸術施策

【問7 で「4 あまり満足していない」又は「5 満足していない」と回答した方に伺います。】

問7-2 区にどのような文化芸術施策を望みますか。(複数選択可)

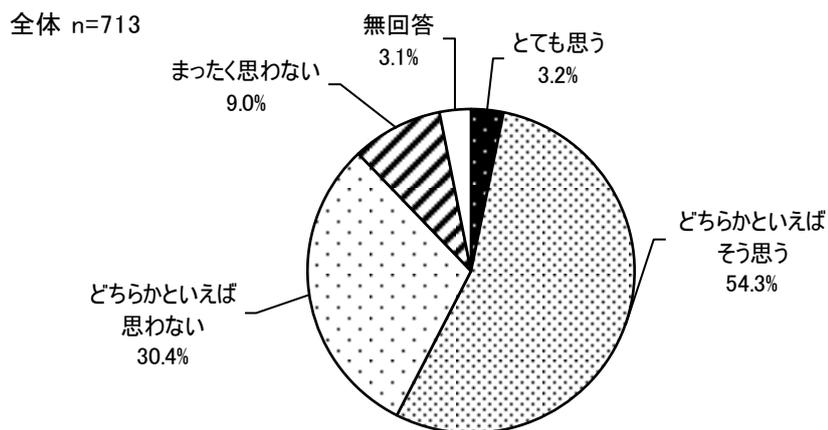
期待する区の文化芸術施策については、「コンサート(クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど)」が49.7%で最も高く、次いで「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が27.8%、「区施設での展示以外でアートに触れる機会・環境が整備されている」が27.2%となっている。



(9) 多文化共生社会の推進度

問8 あなたは、大田区では日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(1つのみ)

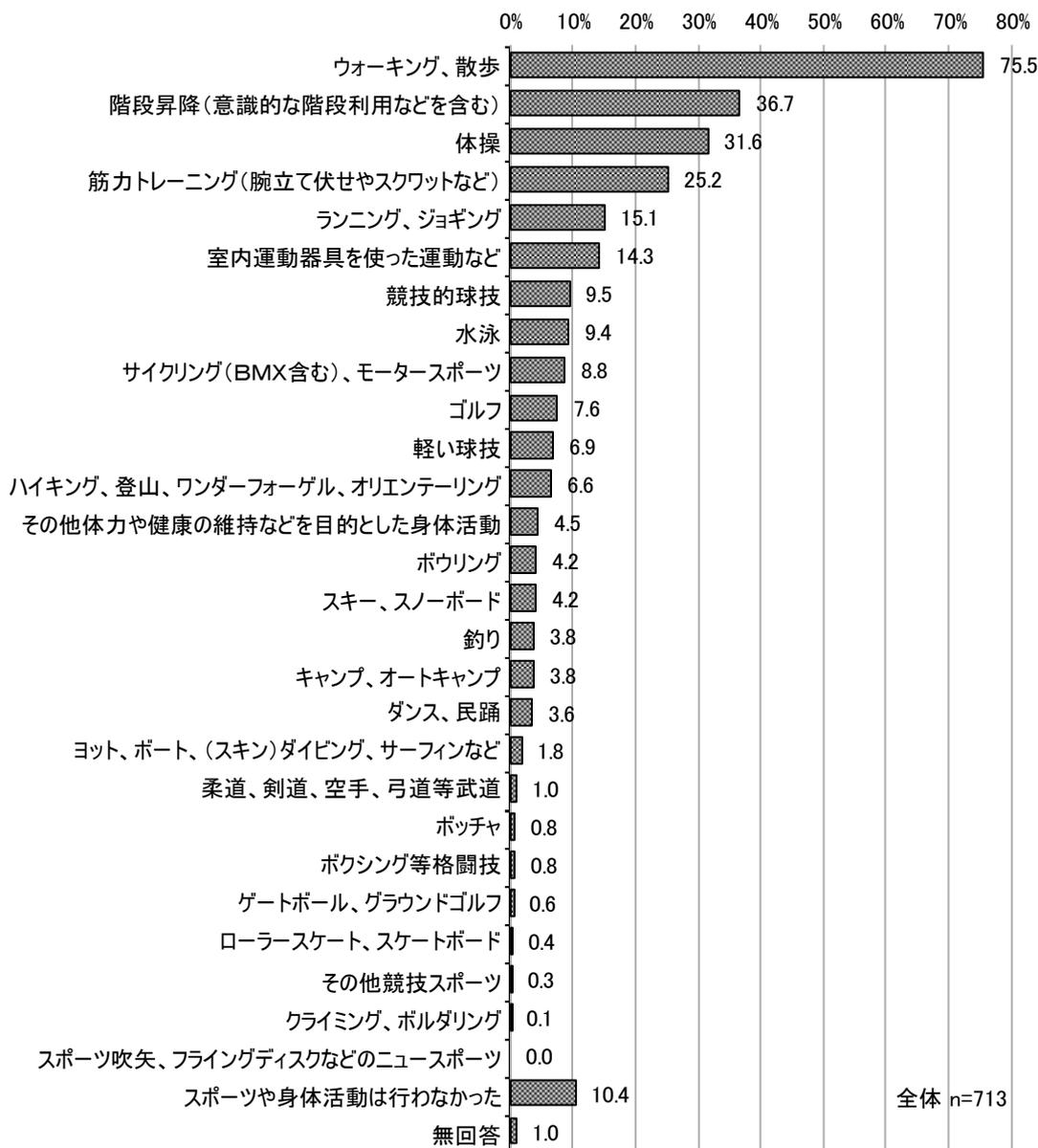
多文化共生社会の推進度について、「とても思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《思う》は57.5%となっている。一方、「どちらかといえば思わない」、「まったく思わない」の合計値《思わない》は39.4%と、《思う》が18.1ポイント上回っている。



(10) 1年間に実施したスポーツや運動

問9 あなたがこの1年間に実施したスポーツや運動をすべて選択してください。(複数選択可)

1年間に実施したスポーツや運動については、「ウォーキング、散歩」が75.5%で最も高く、次いで「階段昇降（意識的な階段利用などを含む）」が36.7%、「体操」が31.6%となっている。



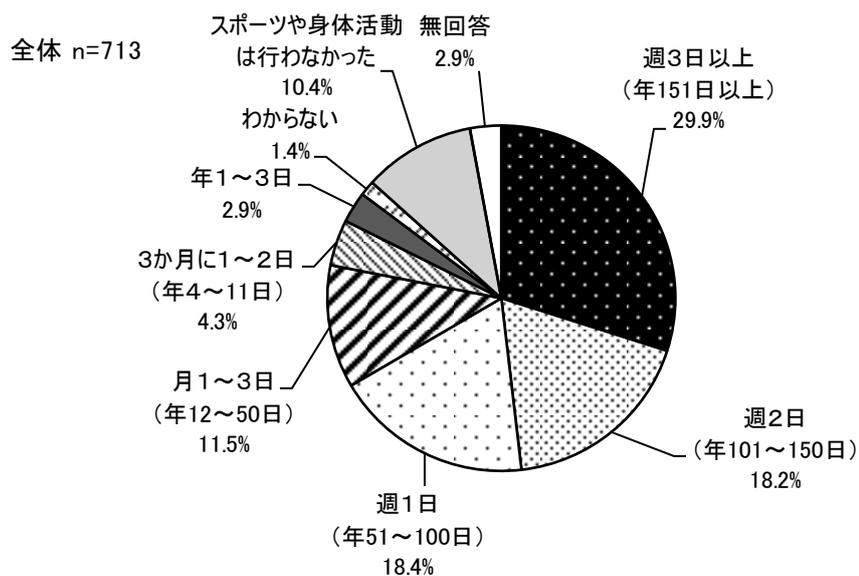
(11) スポーツや運動の実施頻度

【問9 で「1」～「27」と回答した方に伺います。】

問9-1 そのスポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか。(1つのみ)

※年間合計日数でも可

実施頻度については、「週3日以上（年151日以上）」が29.9%で最も高く、次いで「週1日（年51～100日）」が18.4%、「週2日（年101～150日）」が18.2%となっている。

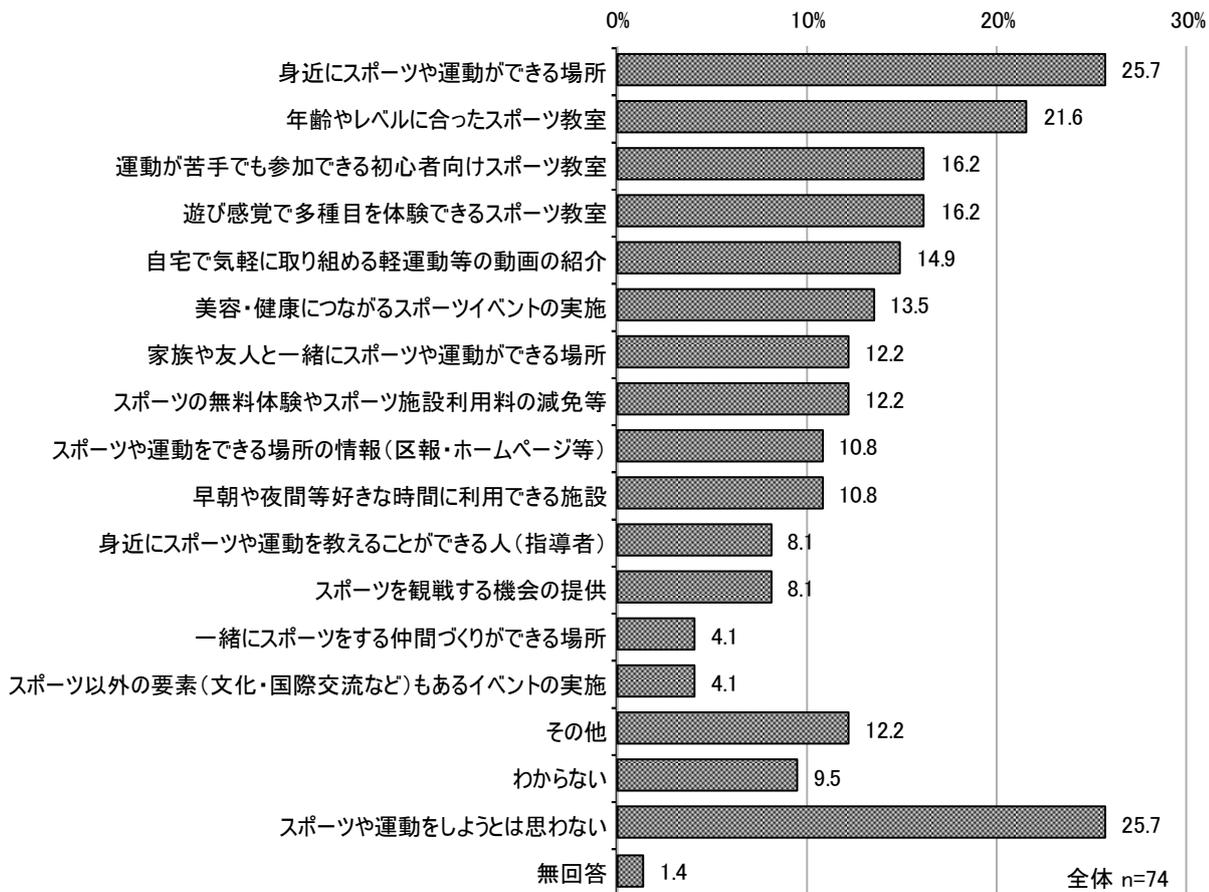


(12) スポーツや運動を開始（再開）するため必要なこと

【問9 で「28」と回答した方に伺います。】

問9-2 スポーツや運動を始める（再開する）ためには何が必要だと思いますか。（複数選択可）

スポーツや運動を開始（再開）するため必要なことについては、「身近にスポーツや運動ができる場所」が25.7%で最も高く、次いで「年齢やレベルに合ったスポーツ教室」が21.6%、「運動が苦手でも参加できる初心者向けスポーツ教室」、「遊び感覚で多種目を体験できるスポーツ教室」が16.2%となっている。

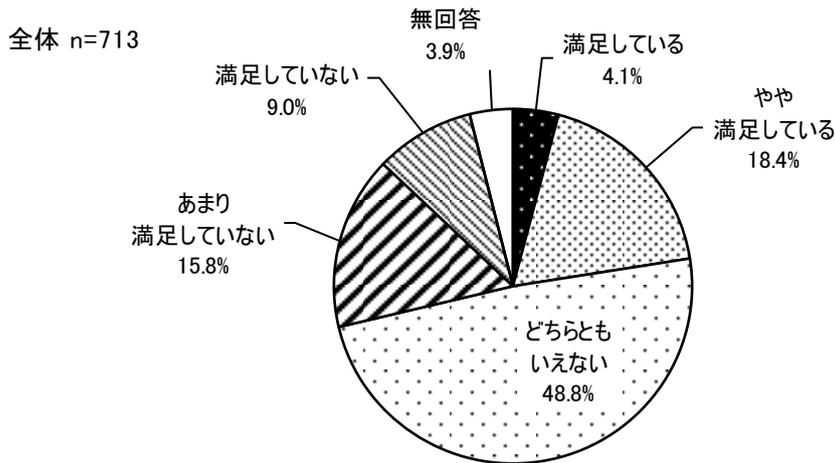


(13) 区のスポーツ環境の満足度

問 10 あなたは区のスポーツ環境に満足していますか。(1つのみ)

区のスポーツ環境の満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は22.5%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は24.8%と、《満足していない》が2.3ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は48.8%となっている。

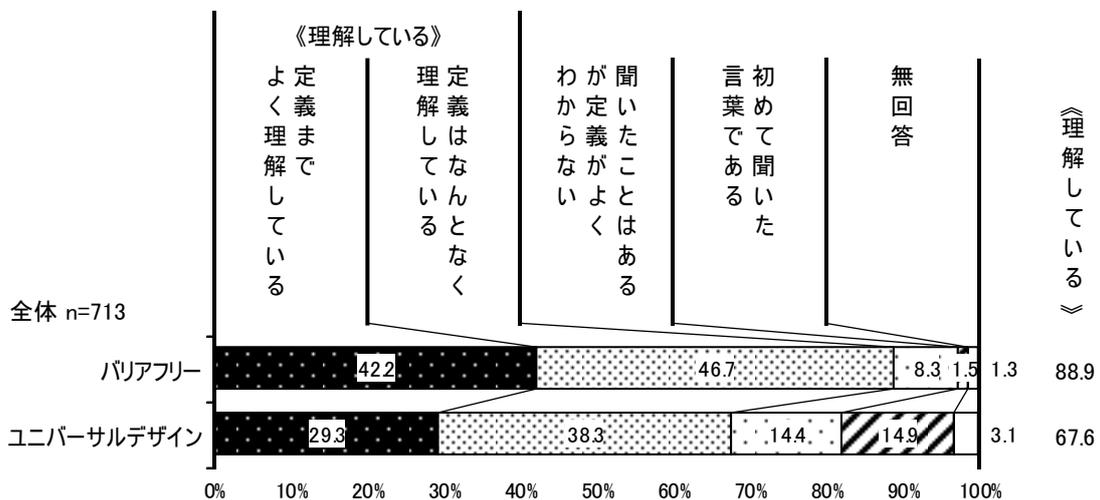


(14) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

問 11 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。(それぞれ1つのみ)

【バリアフリー】の認知度は、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が88.9%で、そのうち「定義までよく理解している」は42.2%となっている。

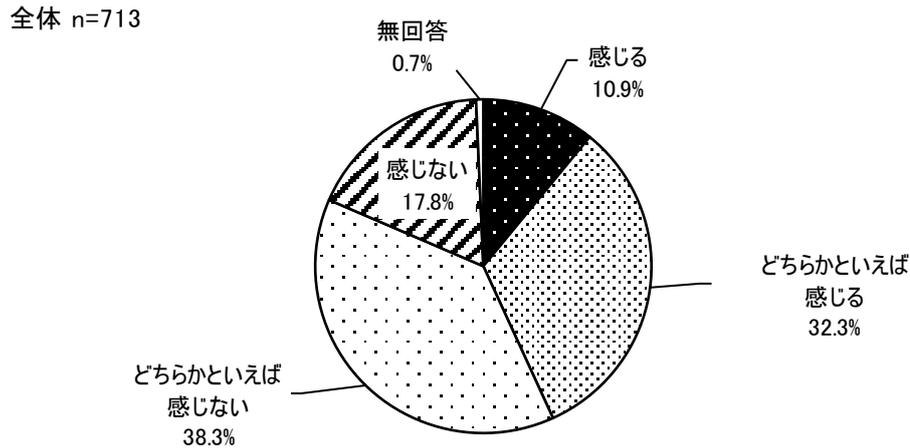
【ユニバーサルデザイン】の認知度は、《理解している》が67.6%で、そのうち「定義までよく理解している」は29.3%となっている。



(15) 地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）

問 12 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。（1つのみ）

地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）については、「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計値《感じる》が43.2%となっている。一方、「どちらかといえば感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が56.1%と、《感じる》が12.9ポイント上回っている。

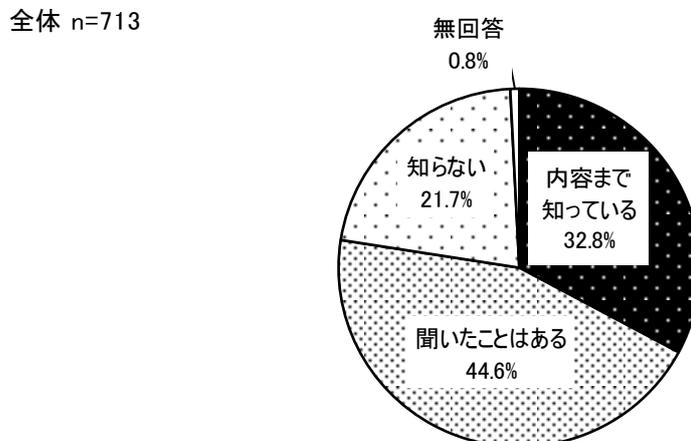


(16) 「成年後見制度」の認知度

問 13 「成年後見制度」を知っていますか。（1つのみ）

※認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法的に支援する制度

「成年後見制度」の認知度については、「聞いたことはある」が44.6%で最も高く、次いで「内容まで知っている」が32.8%、「知らない」が21.7%となっている。

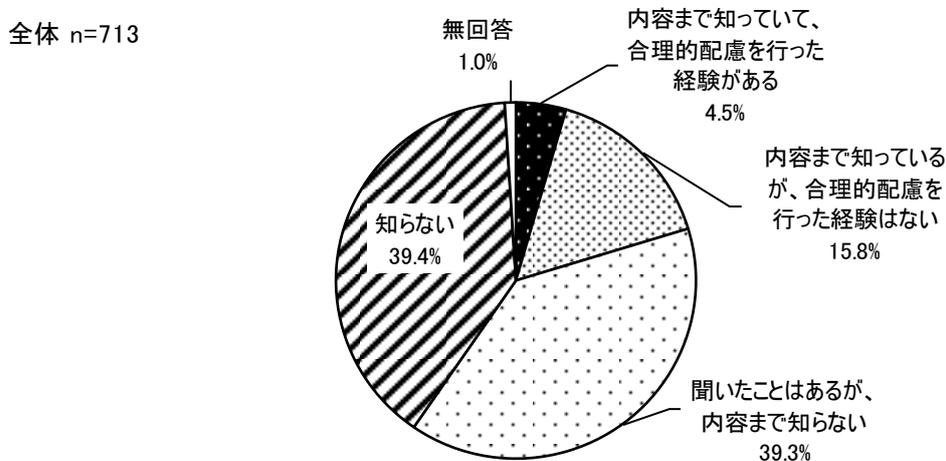


(17) 「障害者差別解消法」の認知度

問 14 障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認めあいながら、ともに生きる社会づくりをめざして、平成 28 年 4 月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和 6 年 4 月には、改正法が施行されました。
「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つのみ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が 39.4%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が 39.3%、「内容まで知っているが、合理的配慮を行った経験はない」が 15.8%となっている。

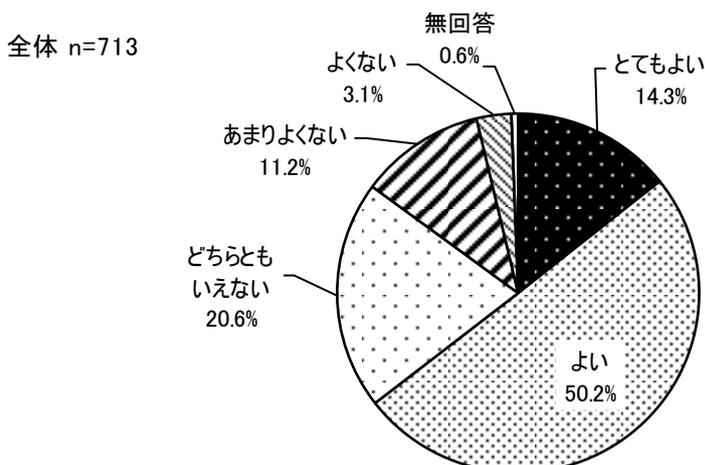
なお、「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は 4.5%となっている。



(18) 現在の健康状態

問 15 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つのみ)

現在の健康状態については、「とてもよい」、「よい」の合計値《よい》が 64.5%となっている。一方、「あまりよくない」、「よくない」の合計値《よくない》が 14.3%と、《よい》が 50.2 ポイント上回っている。

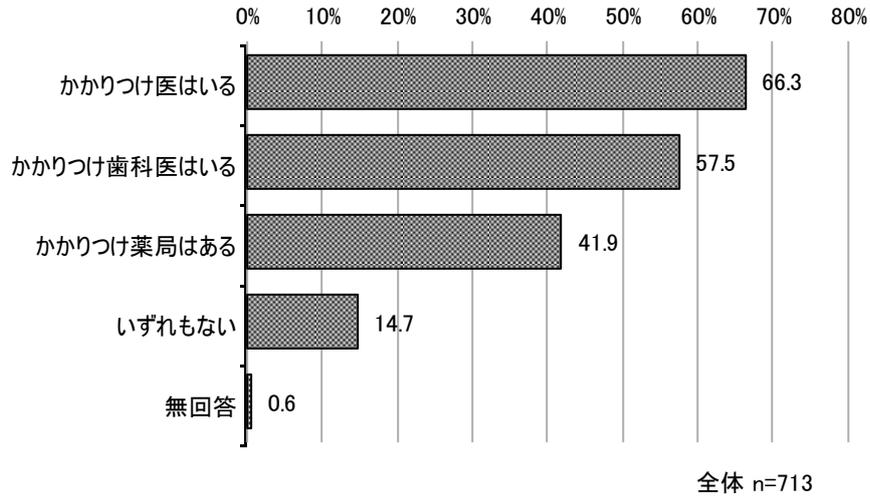


(19) かかりつけの医療機関

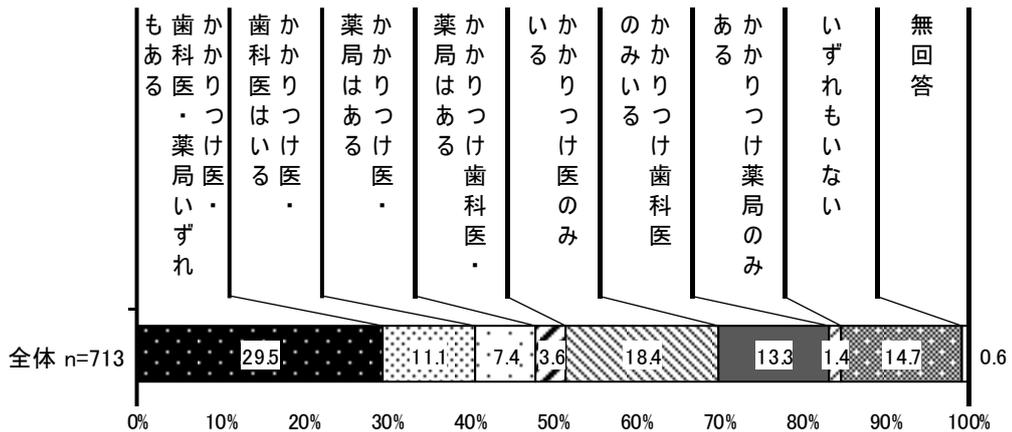
問 16 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(複数選択可)

かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医はいる」が 66.3%で最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいる」が 57.5%、「かかりつけ薬局はある」が 41.9%となっている。

「いずれもない」は 14.7%となっている。



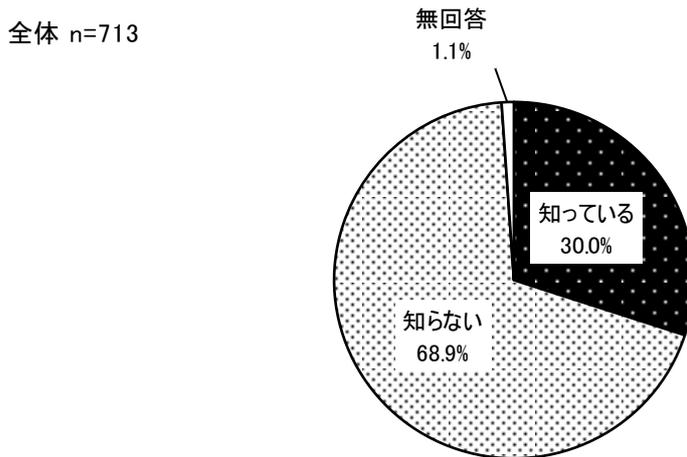
■ かかりつけの医療機関 (単数集計)



(20) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

問 17 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス＝DV)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。
(1つのみ)

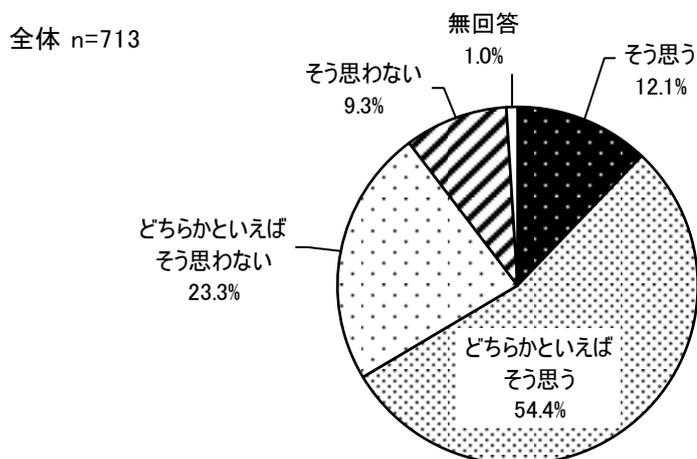
「大田区DV相談ダイヤル」の認知度については、「知っている」が30.0%、「知らない」が68.9%と、「知らない」が38.9ポイント上回っている。



(21) 人権が尊重されている社会

問 18 あなたは、今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。(1つのみ)

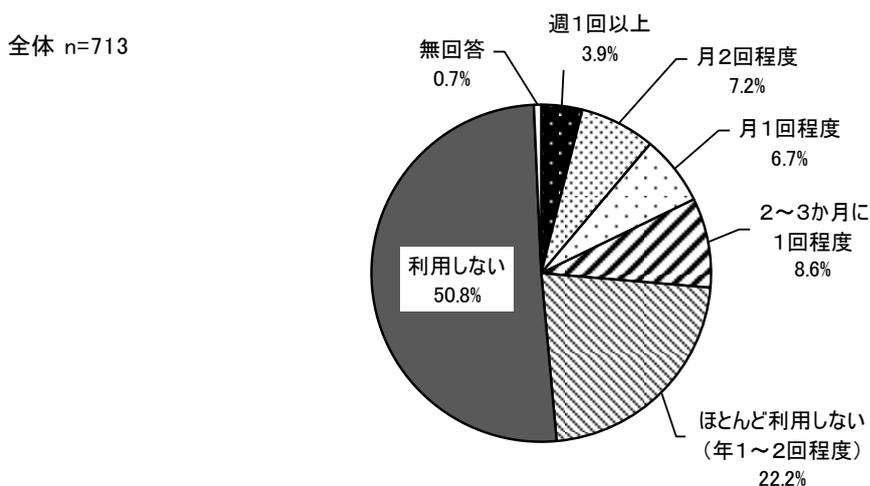
人権が尊重されている社会については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《そう思う》が66.5%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が32.6%と、《そう思う》が33.9ポイント上回っている。



(22) 図書館等の利用頻度

問 19 1年間で大田区立図書館又は文化の森情報館（電子書籍貸出サービスを含む）をどのくらい利用しますか。（1つのみ）

1年間の大田区立図書館又は文化の森情報館の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」、「2～3か月に1回程度」の合計値《利用している》が26.4%となっている。一方、「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」、「利用しない」の合計値《利用しない》が73.0%と、《利用しない》が46.6ポイント上回っている。

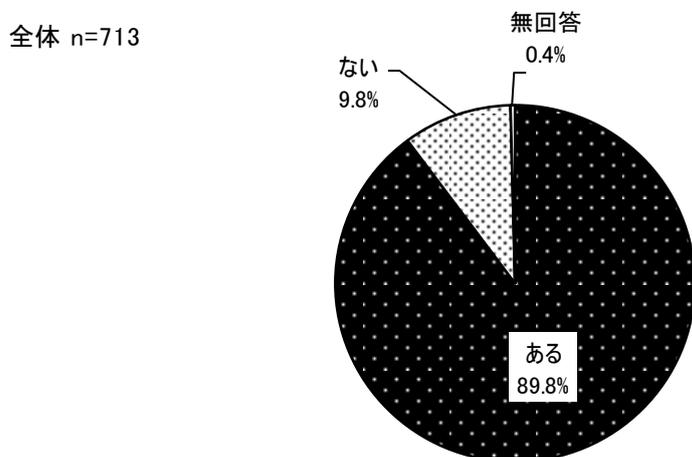


3 基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち

(1) 商店街の利用の有無

問 20 買い物や食事、イベント等で商店街を訪れることがありますか。（1つのみ）

商店街の利用の有無については、「ある」が89.8%、「ない」が9.8%と、「ある」が80.0ポイント上回っている。



4 基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

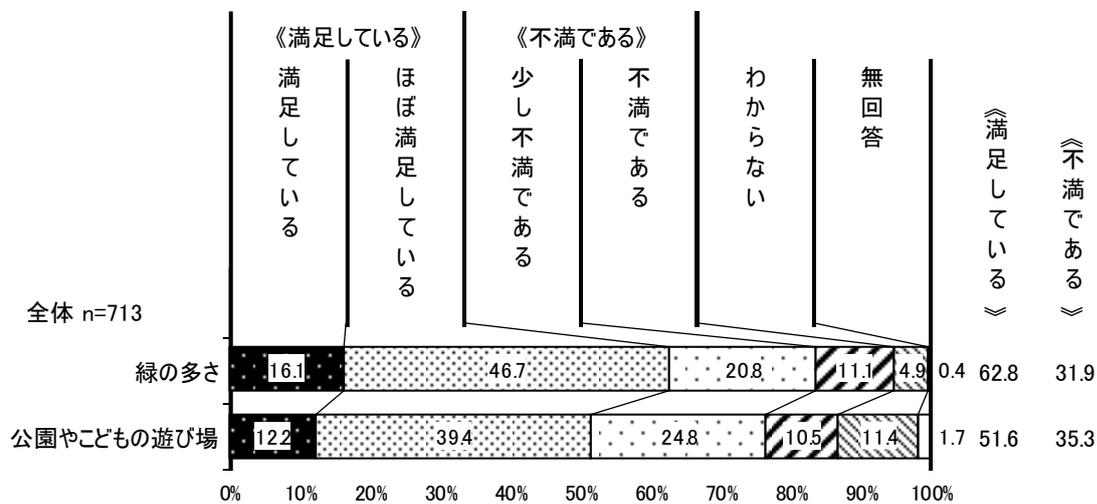
(1) 生活環境の満足度

問 21 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

- ① 緑の多さ
- ② 公園やこどもの遊び場

生活環境の満足度については、【緑の多さ】は「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が62.8%となっている。一方、「少し不満である」、「不満である」の合計値《不満である》が31.9%と、《満足している》が30.9ポイント上回っている。

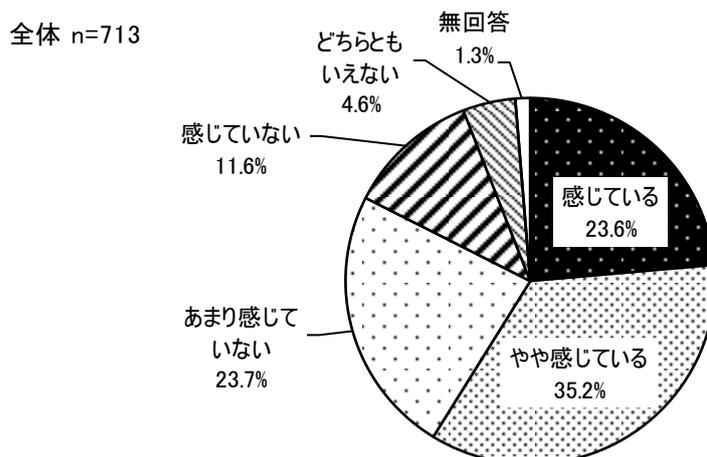
【公園やこどもの遊び場】は《満足している》が51.6%となっている。一方、《不満である》が35.3%と、《満足している》が16.3ポイント上回っている。



(2) 身近な場所の水や緑

問 22 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(1つのみ)

身近な場所の水や緑については、親しめると「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が58.8%となっている。一方、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が35.3%と、《感じている》が23.5ポイント上回っている。



(3) 公園の満足度

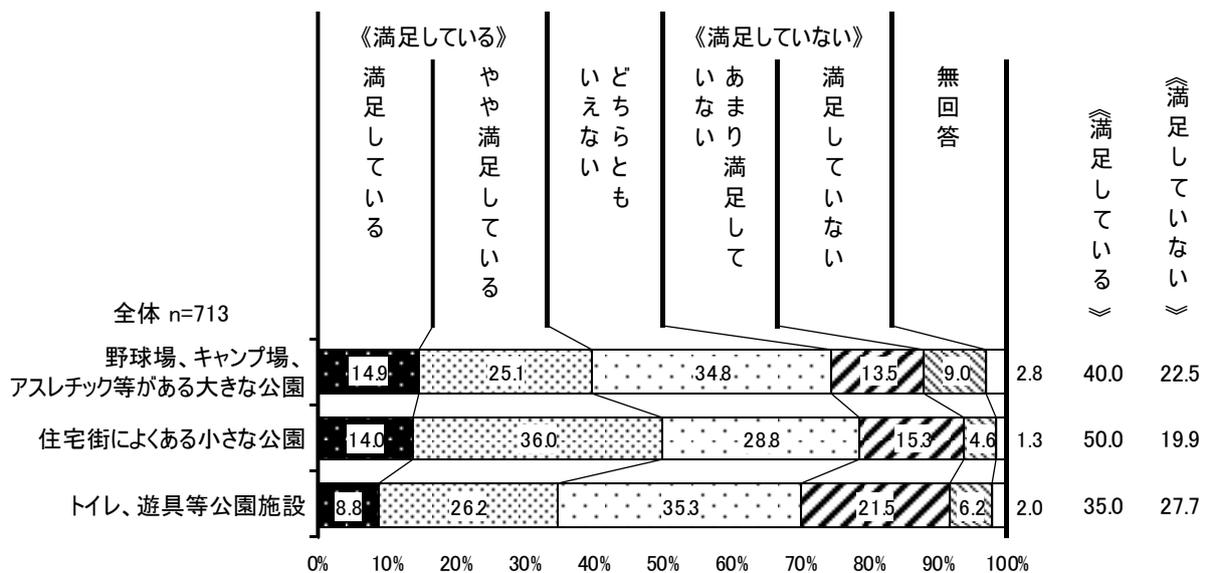
問 23 公園について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

- ①野球場、キャンプ場、アスレチック等がある大きな公園
- ②住宅街によくある小さな公園
- ③トイレ、遊具等公園施設

公園の満足度について、【野球場、キャンプ場、アスレチック等がある大きな公園】は「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》が40.0%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が22.5%と、《満足している》が17.5ポイント上回っている。

【住宅街によくある小さな公園】は《満足している》が50.0%となっている。一方、《満足していない》が19.9%と、《満足している》が30.1%上回っている。

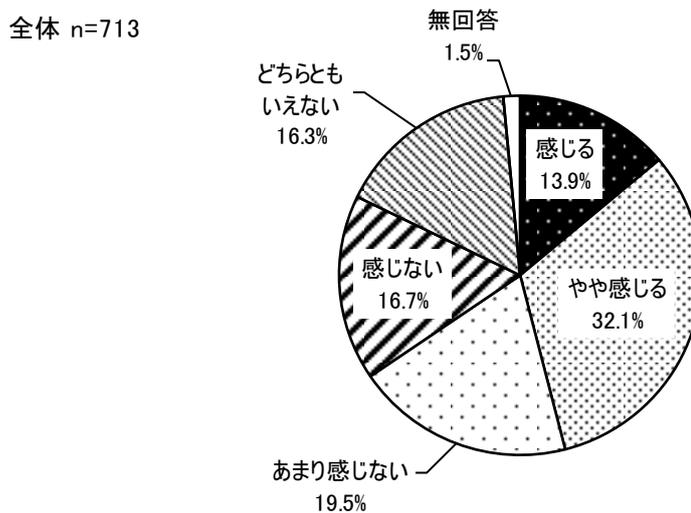
【トイレ、遊具等公園施設】は《満足している》が35.0%となっている。一方、《満足していない》が27.7%と、《満足している》が7.3ポイント上回っている。



(4) 空港臨海部の魅力の有無

問 24 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

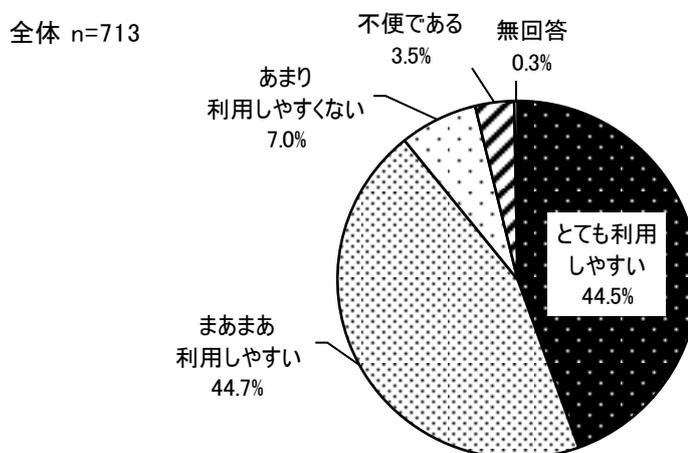
空港臨海部の魅力の有無については、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が46.0%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が36.2%と、《感じる》が9.8ポイント上回っている。



(5) 公共交通機関の利用しやすさ

問 25 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

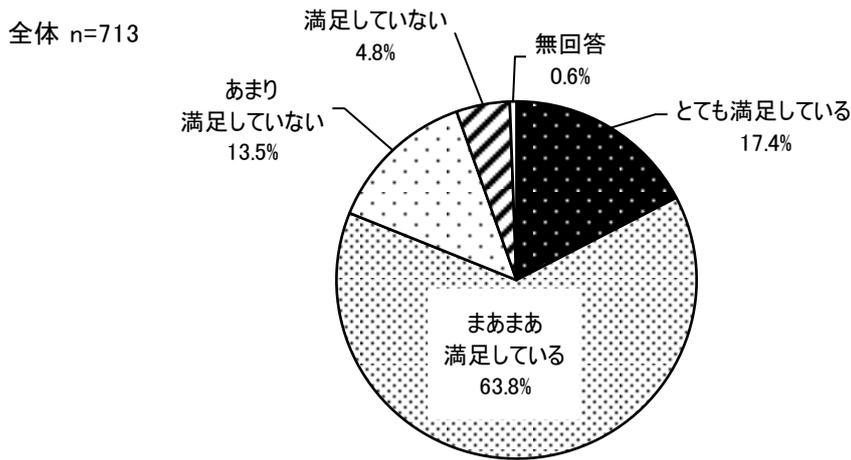
公共交通機関の利用しやすさについては、「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値《利用しやすい》が89.2%となっている。一方、「あまり利用しやすくない」、「不便である」の合計値《利用しやすくない》が10.5%と、《利用しやすい》が78.7ポイント上回っている。



(6) 公共交通網の満足度

問 26 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

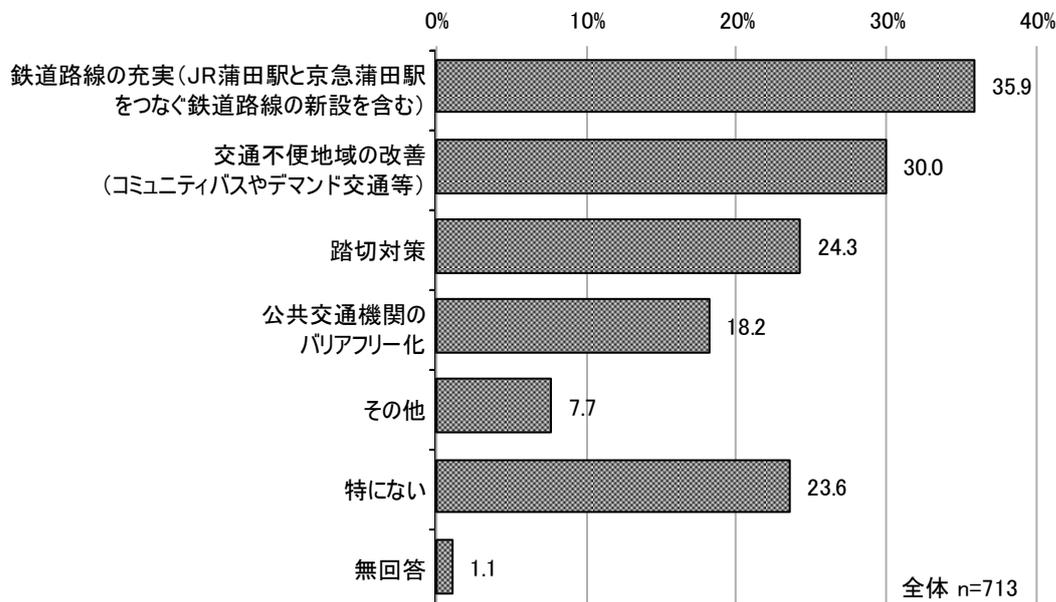
公共交通網の満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が81.2%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が18.3%と、《満足している》が62.9ポイント上回っている。



(7) 早期実現を望む大田区内の公共交通対策

問 27 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(複数選択可)

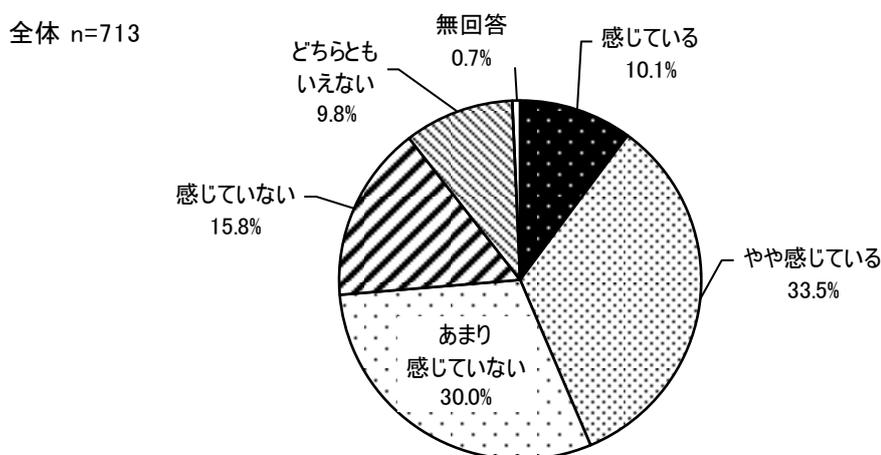
早期実現を望む大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実 (JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む)」が35.9%で最も高く、次いで「交通不便地域の改善 (コミュニティバスやデマンド交通等)」が30.0%、「踏切対策」が24.3%、「公共交通機関のバリアフリー化」が18.2%となっている。なお、「特にない」は23.6%となっている。



(8) 駅周辺の整備の進捗度

問 28 区は、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」において示した、沿線のまちの将来像やその実現に向けた道筋に基づき、官民が協働し、地域特性や限られた空間を最大限有効に活用しながら、安全かつ快適で利便性の高い個性的な都市空間を創出するよう取り組んでいます。現在、大田区内の駅周辺の整備が進んでいると感じますか。(1つのみ)

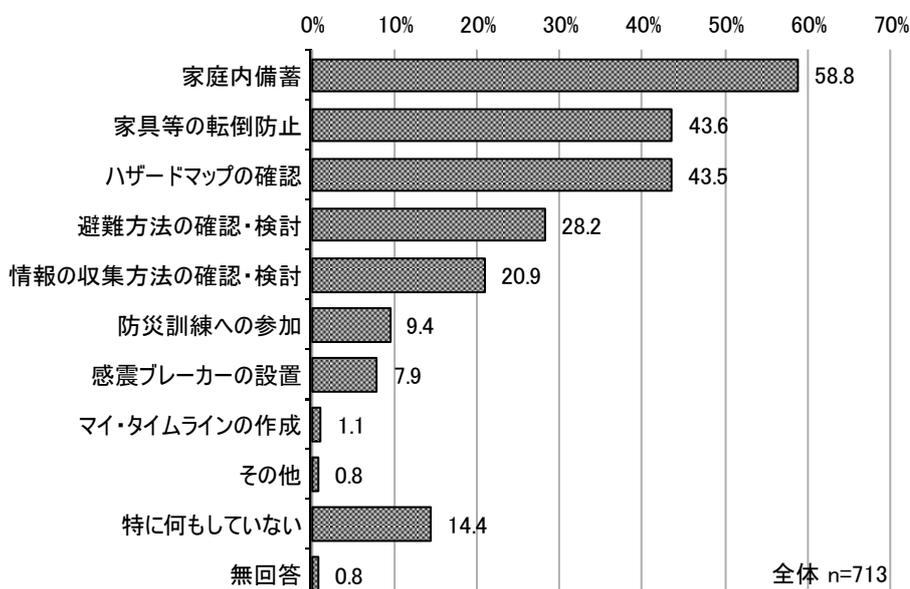
駅周辺の整備の進捗度については、「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が43.6%となっている。一方、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が45.8%と、《感じていない》が2.2ポイント上回っている。



(9) 災害から身を守るための取組

問 29 災害から身を守るためにどのような取組をしていますか。(複数選択可)

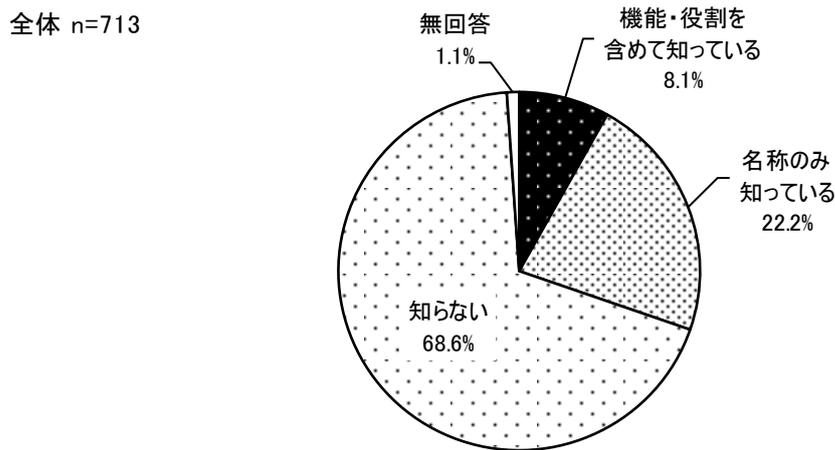
災害から身を守るための取組については、「家庭内備蓄」が58.8%で最も高く、次いで「家具等の転倒防止」が43.6%、「ハザードマップの確認」が43.5%となっている。



(10) 災害時の緊急医療開設場所の認知度

問 30 「緊急医療救護所」は、大規模地震発生時に、病院の門前などで傷病者の治療の優先度をつけたり、軽症者の治療を行うために設置されます。あなたは緊急医療救護所を知っていますか。(1つのみ)

災害時の緊急医療開設場所の認知度については、「知らない」が68.6%で最も高く、次いで「名称のみ知っている」が22.2%、「機能・役割を含めて知っている」が8.1%となっている。

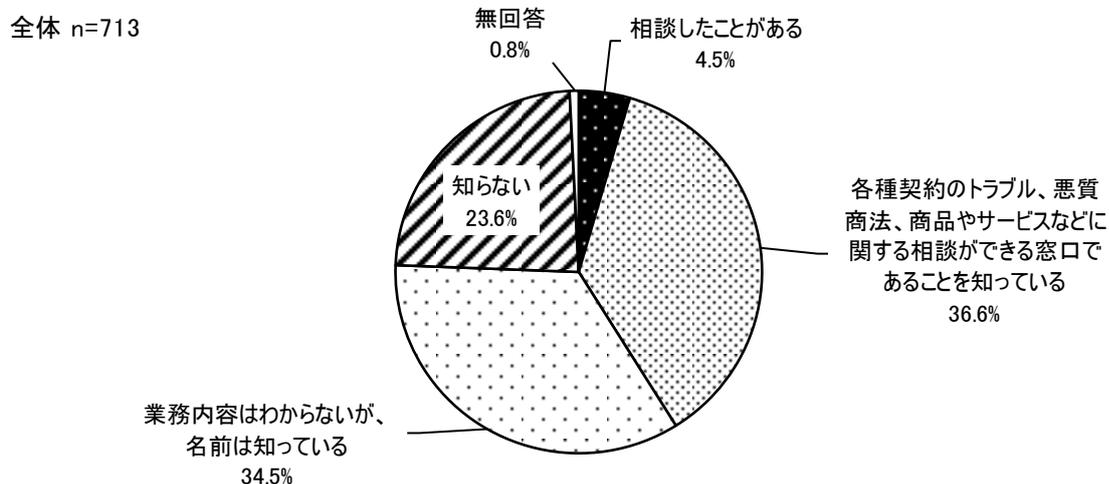


(11) 大田区立消費者生活センターの認知度

問 31 あなたは大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)

大田区立消費者生活センターの認知度については、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が36.6%で最も高く、次いで「業務内容はわからないが、名前は知っている」が34.5%、「知らない」が23.6%となっている。

なお、「相談したことがある」は4.5%となっている。



IV ③各種計画に掲げる施策の検証に係る調査

1 SDGs について

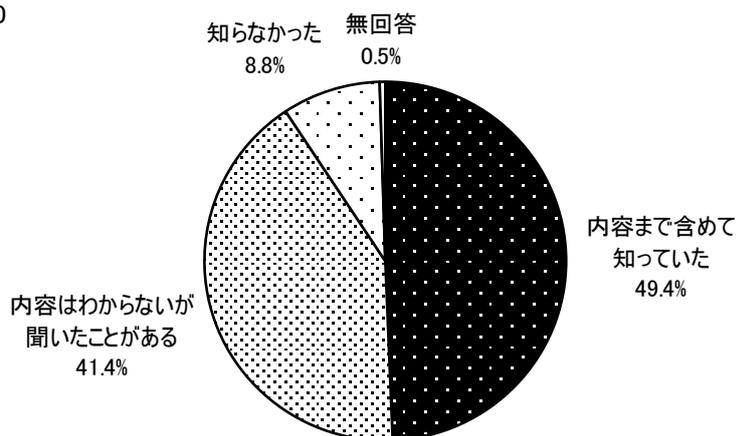
(1) SDGs の認知度

問1 SDGs は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことです。SDGs は、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット（達成基準）から構成されます。

SDGs について知っていましたか。（1つのみ）

SDGs の認知度については、「内容まで含めて知っていた」が49.4%で最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことがある」が41.4%、「知らなかった」が8.8%となっている。

全体 n=660

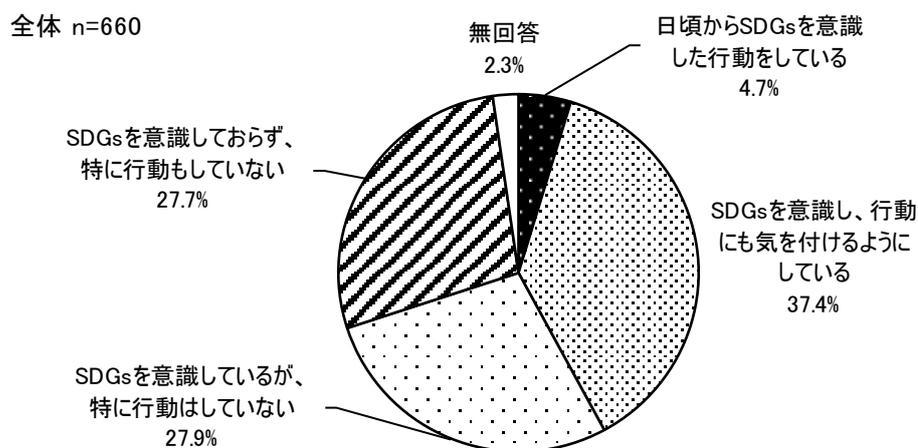


(2) SDGs に関する意識と行動

問2 SDGs に関する意識と行動についてご回答ください。(1つのみ)

SDGs に関する意識と行動については、「SDGs を意識し、行動にも気を付けるようにしている」が 37.4%と最も高く、次いで「SDGs を意識しているが、特に行動はしていない」が 27.9%、「SDGs を意識しておらず、特に行動もしていない」が 27.7%となっている。

なお、「日頃から SDGs を意識した行動をしている」は 4.7%となっている。

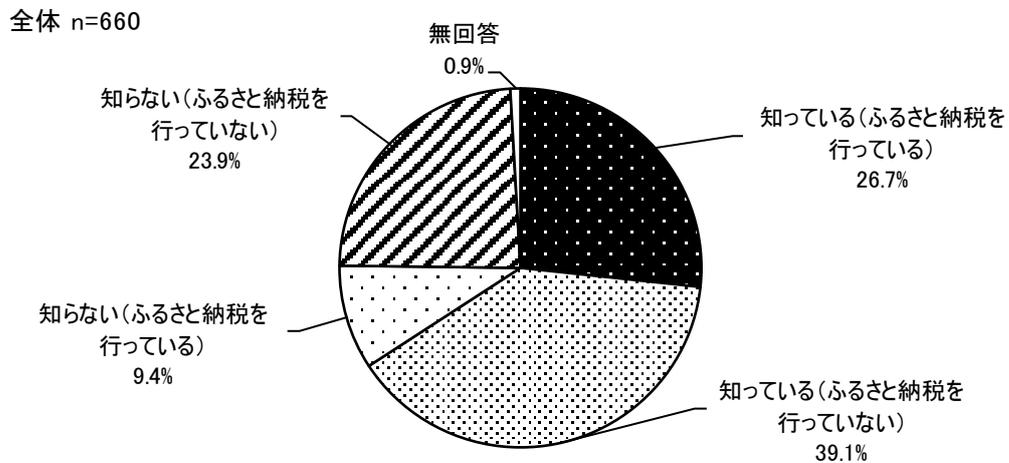


2 ふるさと納税について

(1) 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度

問3 あなたは、他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響を知っていますか。
(1つのみ)

他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度については、「知っている（ふるさと納税を行っている）」、「知っている（ふるさと納税を行っていない）」の合計値《知っている》が65.8%となっている。一方、「知らない（ふるさと納税を行っている）」、「知らない（ふるさと納税を行っていない）」の合計値《知らない》が33.3%と、《知っている》が32.5ポイント上回っている。

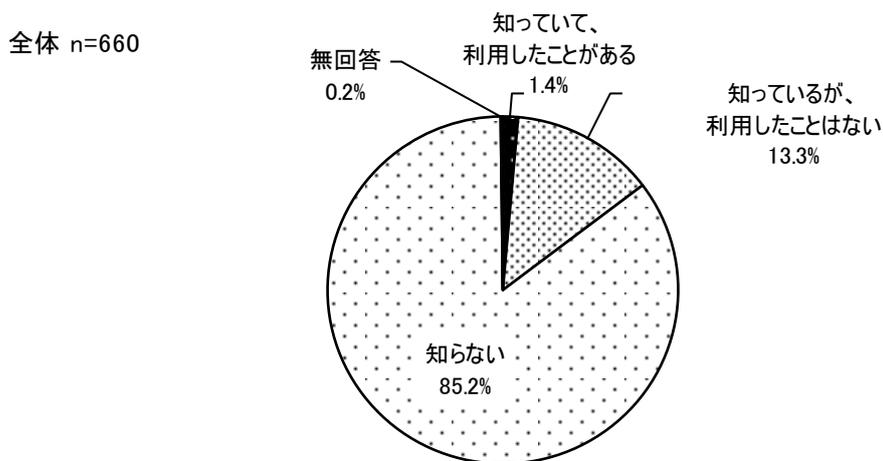


3 各種認知度について

(1) 「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度

問4 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

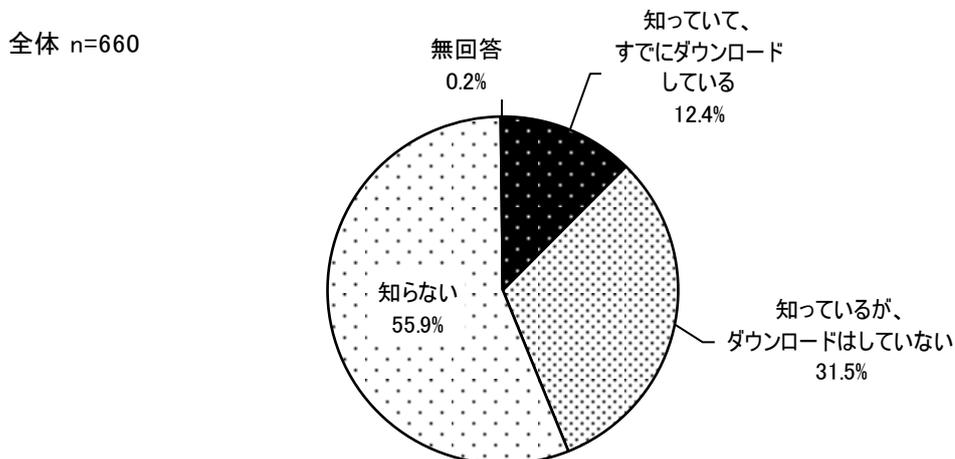
「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度については、「知っていて、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が14.7%となっている。一方、「知らない」が85.2%と、「知らない」が70.5ポイント上回っている。



(2) 「大田区防災アプリ」の認知度

問5 防災情報や防災行政無線（放送塔）の放送内容などをタイムリーに確認することができる「大田区防災アプリ」を知っていますか。(1つのみ)

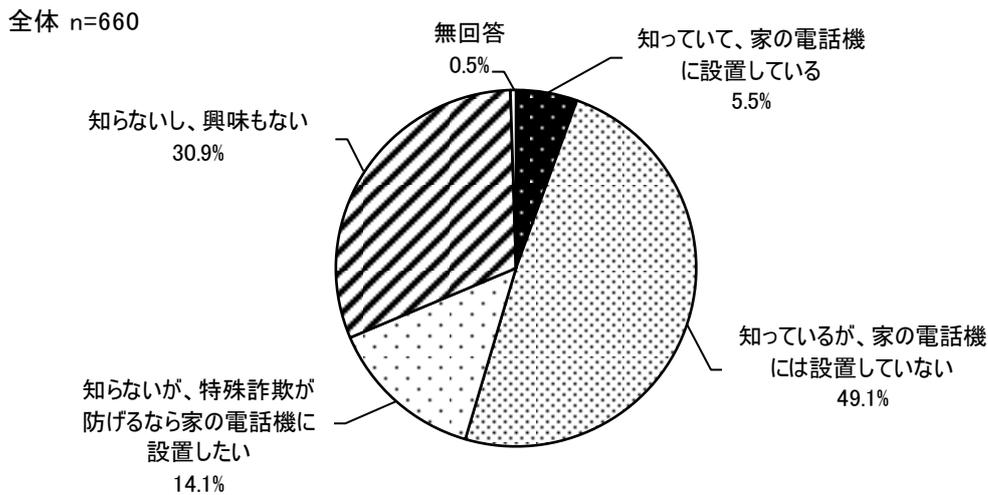
「大田区防災アプリ」の認知度については、「知っていて、すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《知っている》が43.9%となっている。一方、「知らない」が55.9%と、「知らない」が12.0ポイント上回っている。



(3) 「自動通話録音機」の認知度

問6 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」※を知っていますか。(1つのみ)
 ※区や警察署で無償貸し出しを行っています。

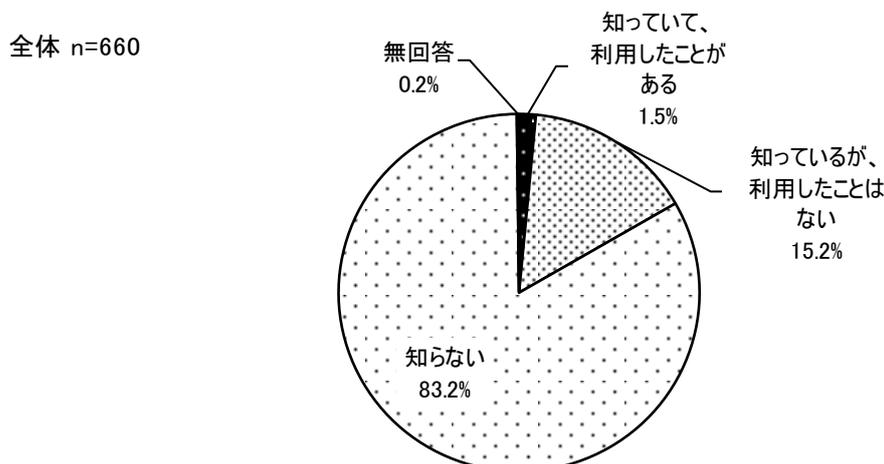
「自動通話録音機」の認知度については、「知っているが、家の電話機には設置していない」が49.1%で最も高く、次いで「知らないし、興味もない」が30.9%、「知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に設置したい」が14.1%、「知っている、家の電話機に設置している」が5.5%となっている。



(4) おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度

問7 大田区における国際交流と多文化共生を一体的に進めていく施設として、おおた国際交流センター (Minto Ota)があることを知っていますか。(1つのみ)

おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度については、「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》は16.7%となっている。一方、「知らない」は83.2%と、「知らない」が66.5ポイント上回っている。



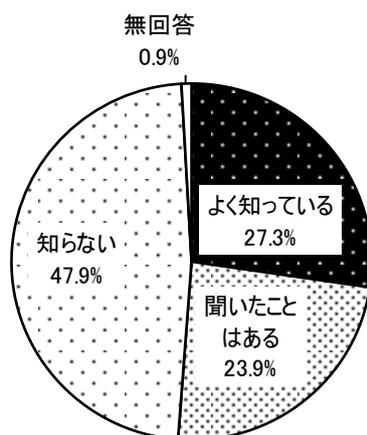
(5) 「ヘルプカード (たすけてねカード)」の認知度

問8 「ヘルプカード (たすけてねカード)」を知っていますか。(1つのみ)

※障がいのある方などが、災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード。(大田区が作成)

「ヘルプカード (たすけてねカード)」の認知度については、「知らない」が47.9%で最も高く、次いで「よく知っている」が27.3%、「聞いたことはある」が23.9%となっている。

全体 n=660



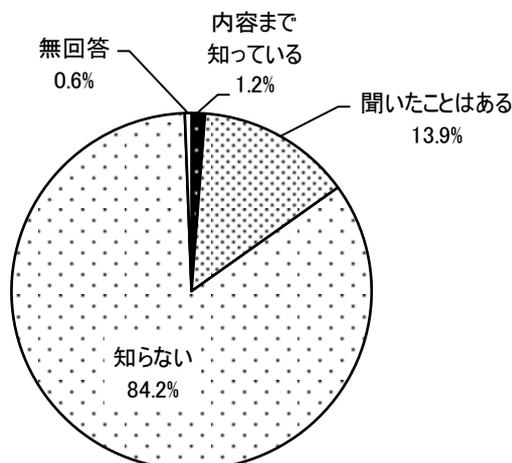
(6) 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度

問9 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」を知っていますか。(1つのみ)

※大田区では、手話が言語であることへの理解を促進するとともに、それぞれの障がい特性に応じた意思疎通手段の利用を促進することにより、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する地域社会の実現をめざして制定しました。

「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度については、「知らない」が84.2%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が13.9%、「内容まで知っている」が1.2%となっている。

全体 n=660



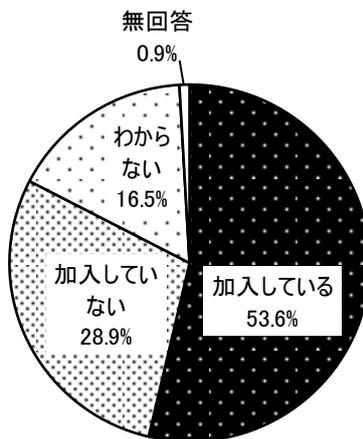
4 自治会・町会について

(1) 自治会・町会への加入

問 10 あなたは、自治会・町会に加入していますか。(1つのみ)

自治会・町会への加入については、「加入している」が 53.6%となっている。一方、「加入していない」が 28.9%と、「加入している」が 24.7ポイント上回っている。

全体 n=660

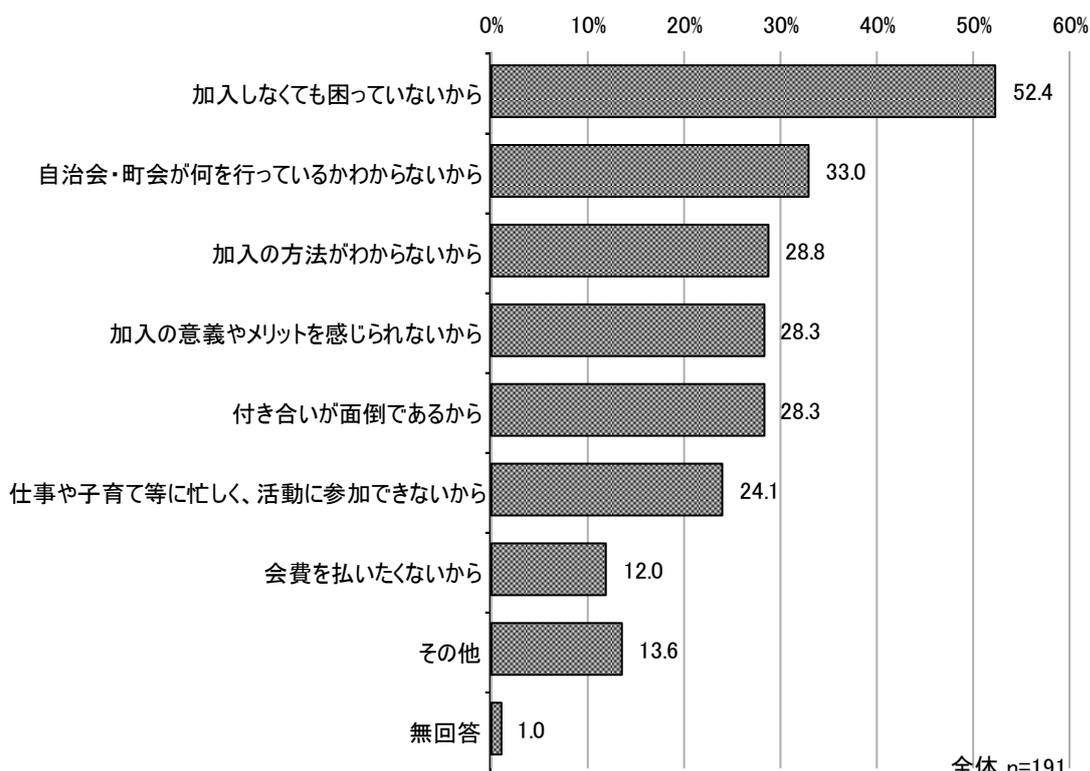


(2) 自治会・町会に加入していない理由

【問 10 で「2 加入していない」と回答した方に伺います。】

問 10-1 自治会・町会に加入していない理由は何ですか。(いくつでも)

自治会・町会に加入していない理由については、「加入しなくても困っていないから」が 52.4%で最も高く、次いで「自治会・町会が何を行っているかわからないから」が 33.0%、「加入の方法がわからないから」が 28.8%となっている。

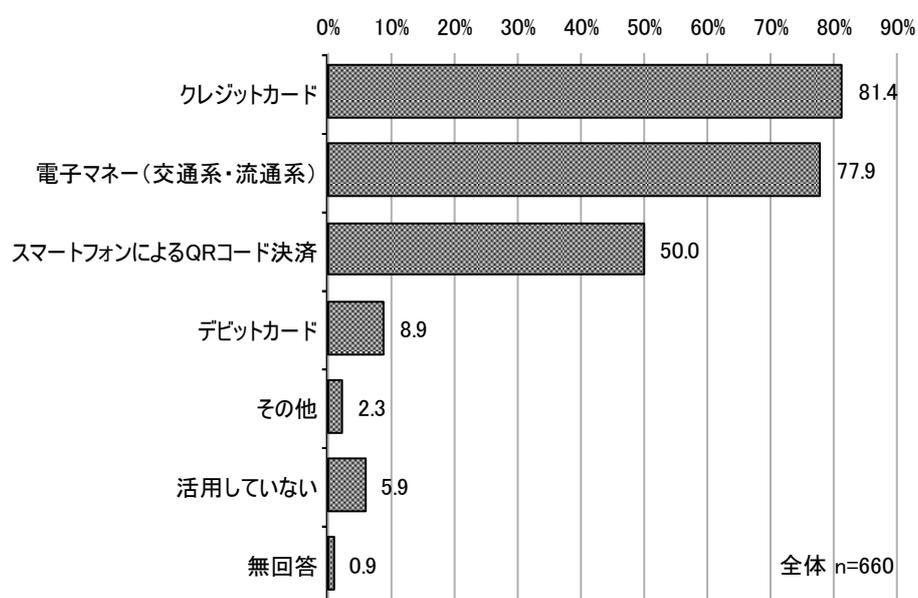


5 キャッシュレスについて

(1) 活用しているキャッシュレスの支払い手段

問 11 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも)

活用しているキャッシュレスの支払い手段については、「クレジットカード」が81.4%で最も高く、次いで「電子マネー(交通系・流通系)」が77.9%、「スマートフォンによるQRコード決済」が50.0%となっている。



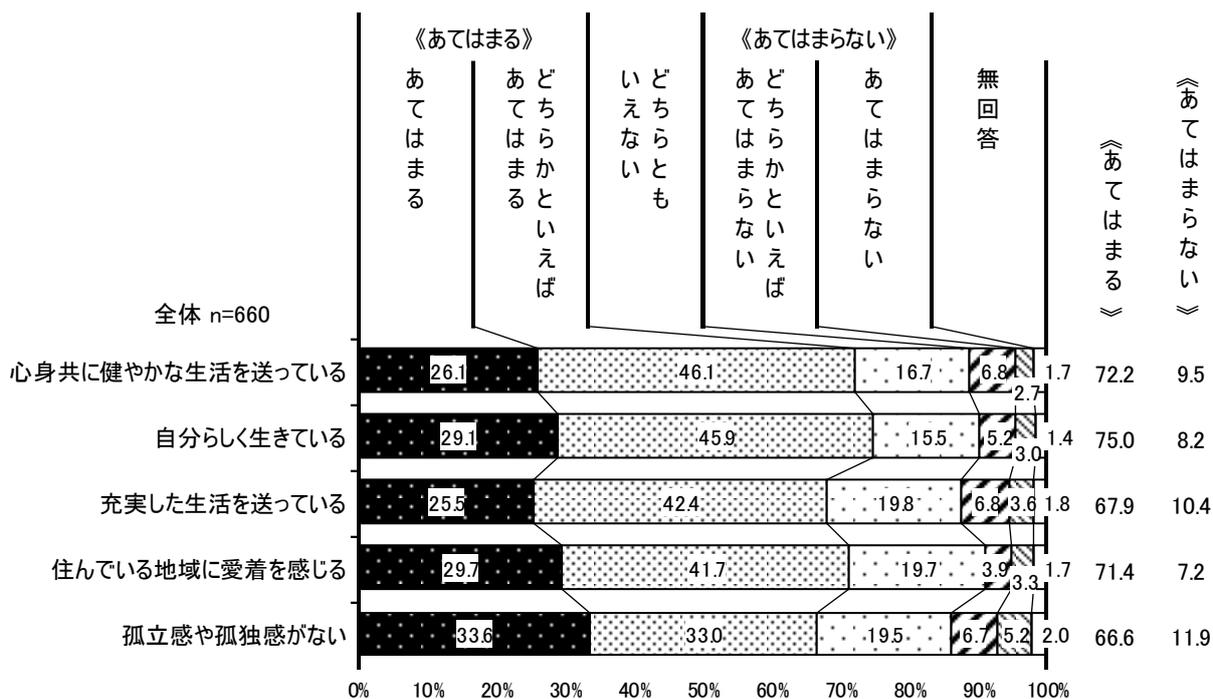
6 普段の生活について

(1) 普段の生活の満足度

問 12 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つのみ)

- ①心身共に健やかな生活を送っている
- ②自分らしく生きている
- ③充実した生活を送っている
- ④住んでいる地域に愛着を感じる
- ⑤孤立感や孤独感がない

普段の生活の満足度については、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は【自分らしく生きている】が75.0%で最も高く、次いで【心身共に健やかな生活を送っている】が72.2%、【住んでいる地域に愛着を感じる】が71.4%、【充実した生活を送っている】が67.9%、【孤立感や孤独感がない】が66.6%となっている。

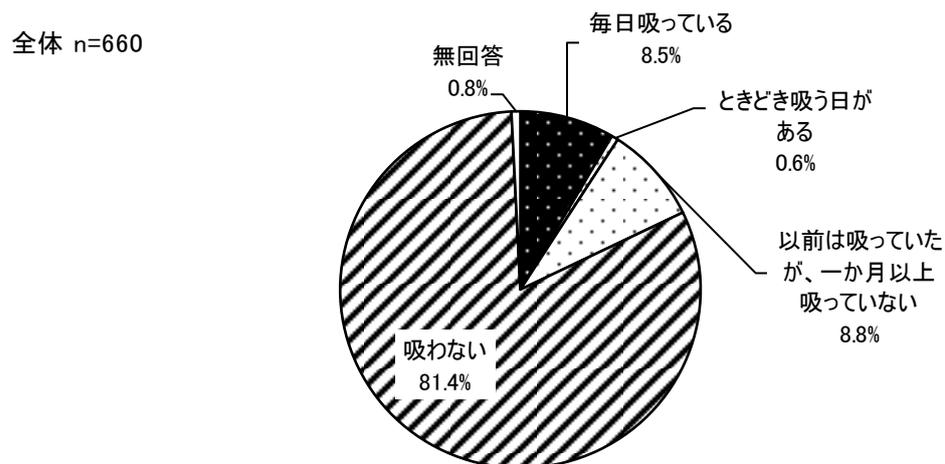


7 喫煙について

(1) 喫煙状況

問 13 あなたは、たばこを吸いますか。(1つのみ)

喫煙状況については、「吸わない」が81.4%で最も高く、次いで「以前は吸っていたが、一か月以上吸っていない」が8.8%、「毎日吸っている」が8.5%、「ときどき吸う日がある」が0.6%となっている。



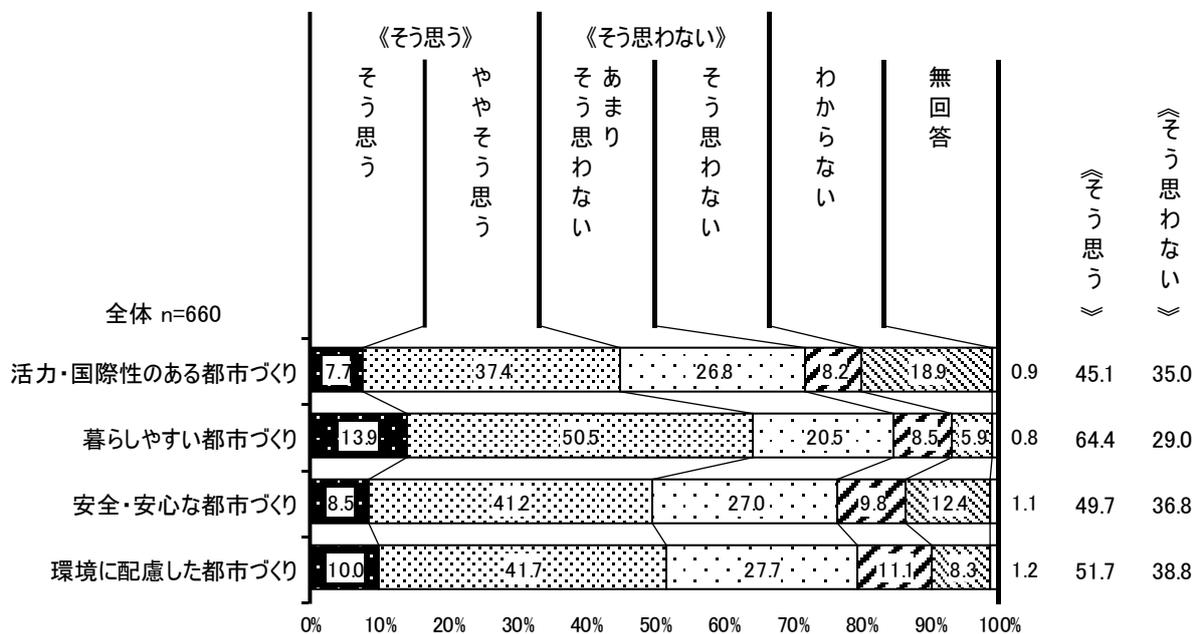
8 まちづくりについて

(1) まちづくりの進捗状況

問 14 あなたは、以下の区のまちづくりが進んでいると思いますか。(それぞれ1つのみ)

- ①活力・国際性のある都市づくり
- ②暮らしやすい都市づくり
- ③安全・安心な都市づくり
- ④環境に配慮した都市づくり

まちづくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《そう思う》は【暮らしやすい都市づくり】が 64.4%で最も高く、次いで【環境に配慮した都市づくり】が 51.7%、【安全・安心な都市づくり】が 49.7%、【活力・国際性のある都市づくり】が 45.1%となっている。



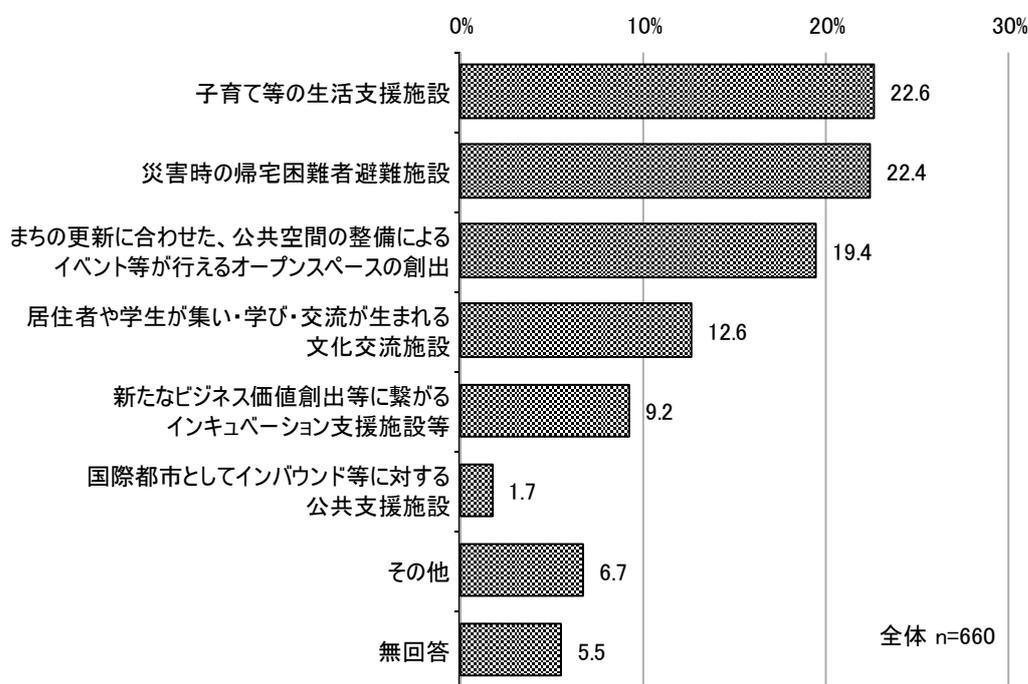
(2) 最も望む公共施設

問 15 区は、地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくため、令和4年4月に「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を策定しました。

この計画に基づき、まちの機能更新を見据えた時、蒲田駅周辺の魅力を向上させるためには、どのような公共施設を望みますか。

最も望む施設を1つお答えください。(1つのみ)

最も望む公共施設については、「子育て等の生活支援施設」が22.6%と最も高く、次いで「災害時の帰宅困難者避難施設」が22.4%、「まちの更新に合わせた、公共空間の整備によるイベント等が行えるオープンスペースの創出」が19.4%となっている。

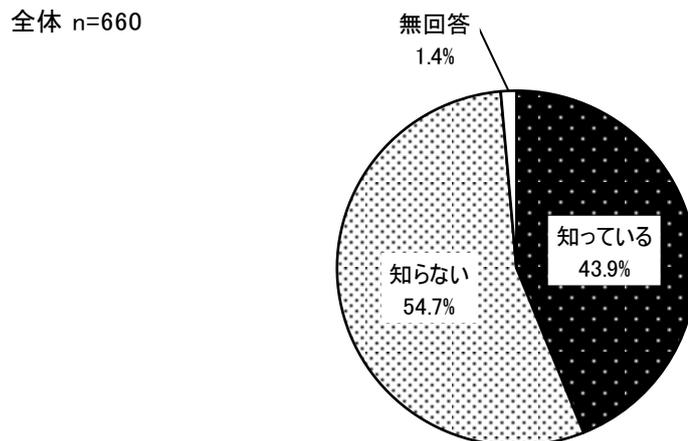


9 『羽田イノベーションシティ』について

(1) 羽田イノベーションシティの認知度

問 16 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。
(1つのみ)

羽田イノベーションシティの認知度については、「知っている」が43.9%となっている。一方、「知らない」が54.7%と、「知らない」が10.8ポイント上回っている。

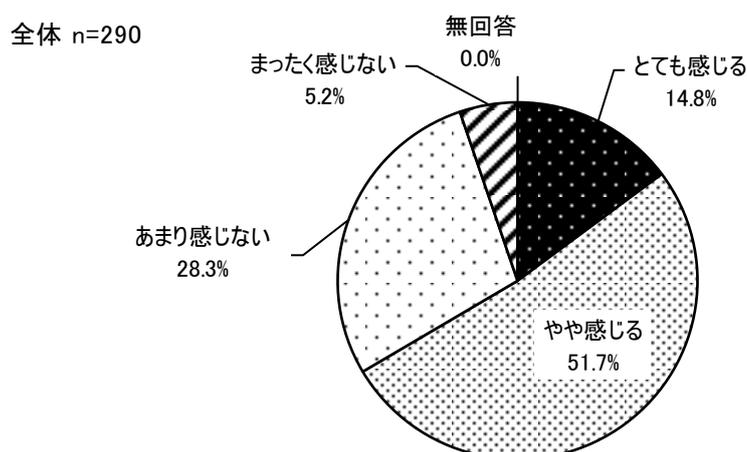


(2) 羽田イノベーションシティへの期待感や満足感

【問 16 で「1 知っている」と回答した方に伺います。】

問 16-1 羽田イノベーションシティは、「新産業創造・発信拠点」の形成に向けて、世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報を集積し、ここに集う国内外のプレイヤーが互いに交流することによる新たなビジネスやイノベーションの創造や、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する目的で整備したまちです。このようなまちができたことについて、区民として期待感や満足感、誇らしさを感じますか。(1つのみ)

羽田イノベーションシティへの期待感や満足感については、「とても感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は66.5%となっている。一方、「あまり感じない」、「まったく感じない」の合計値《感じない》は33.5%と、《感じる》が33.0ポイント上回っている。



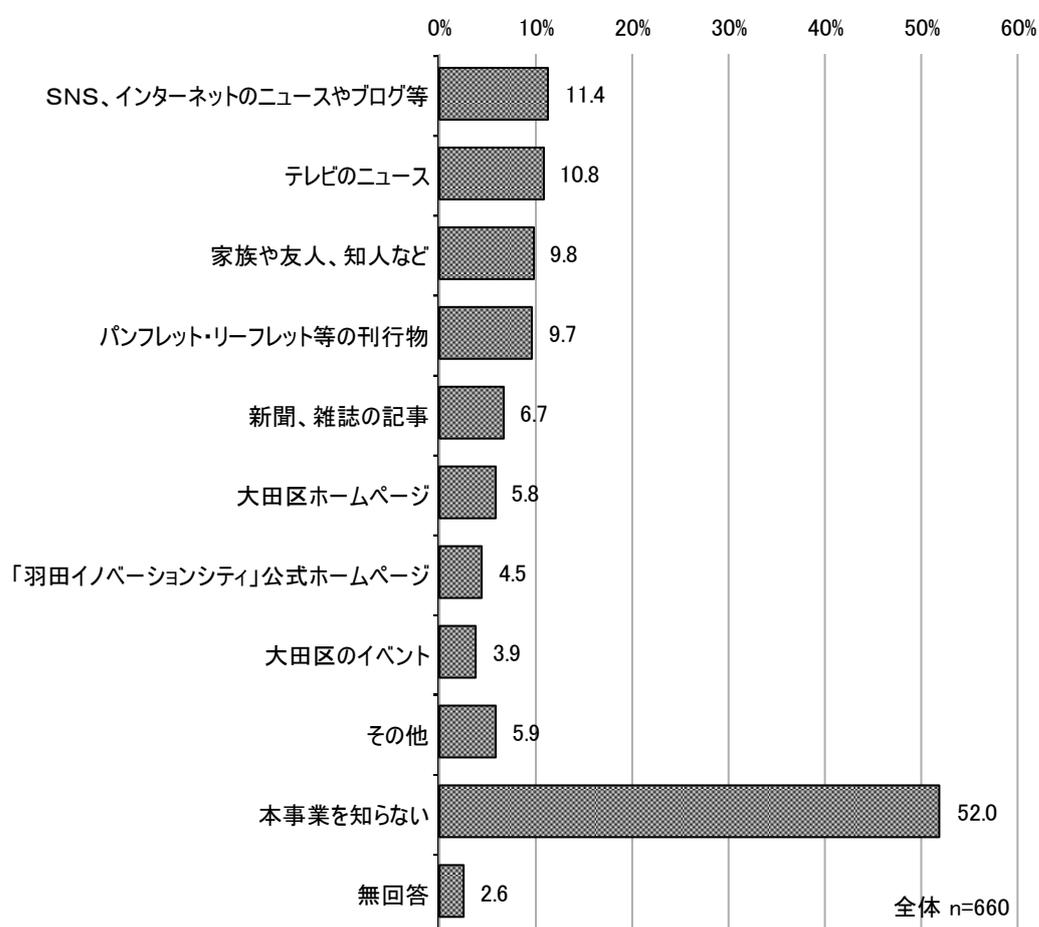
10 羽田空港跡地について

(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法

問 17 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（ZeppHaneda 等のある羽田イノベーションシティを含む）」が進められていることについて、どのように知りましたか。（いくつでも）

「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法は、「SNS、インターネットのニュースやブログ等」が 11.4%で最も高く、次いで「テレビのニュース」が 10.8%、「家族や友人、知人など」が 9.8%、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が 9.7%となっている。

なお、「本事業を知らない」は 52.0%となっている。

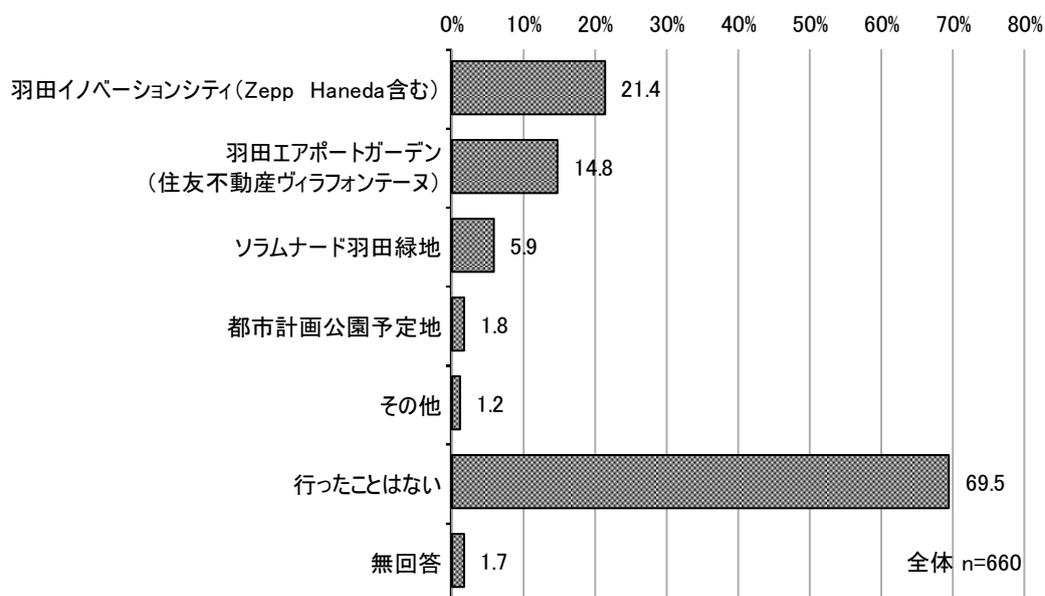


(2) 「HANEDA GLOBAL WINGS」の利用したことがある施設

問 18 HANEDA GLOBAL WINGS に行ったことがありますか。行ったことのある場所すべてに○をつけてください。(いくつでも)

「HANEDA GLOBAL WINGS」の利用したことがある施設については、「羽田イノベーションシティ (Zepp Haneda 含む)」が 21.4%で最も高く、次いで「羽田エアポートガーデン (住友不動産ヴィラフォンテーヌ)」が 14.8%、「ソラムナード羽田緑地」が 5.9%となっている。

なお、「行ったことはない」は 69.5%となっている。

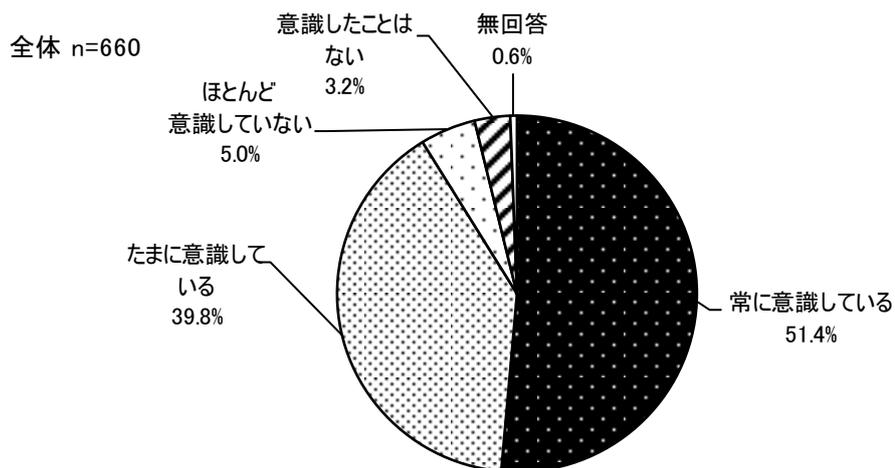


11 食品ロス・フードドライブについて

(1) 「食品ロス」への意識

問 19 普段の生活の中で、「食品ロス」の発生を意識していますか。(1つのみ)

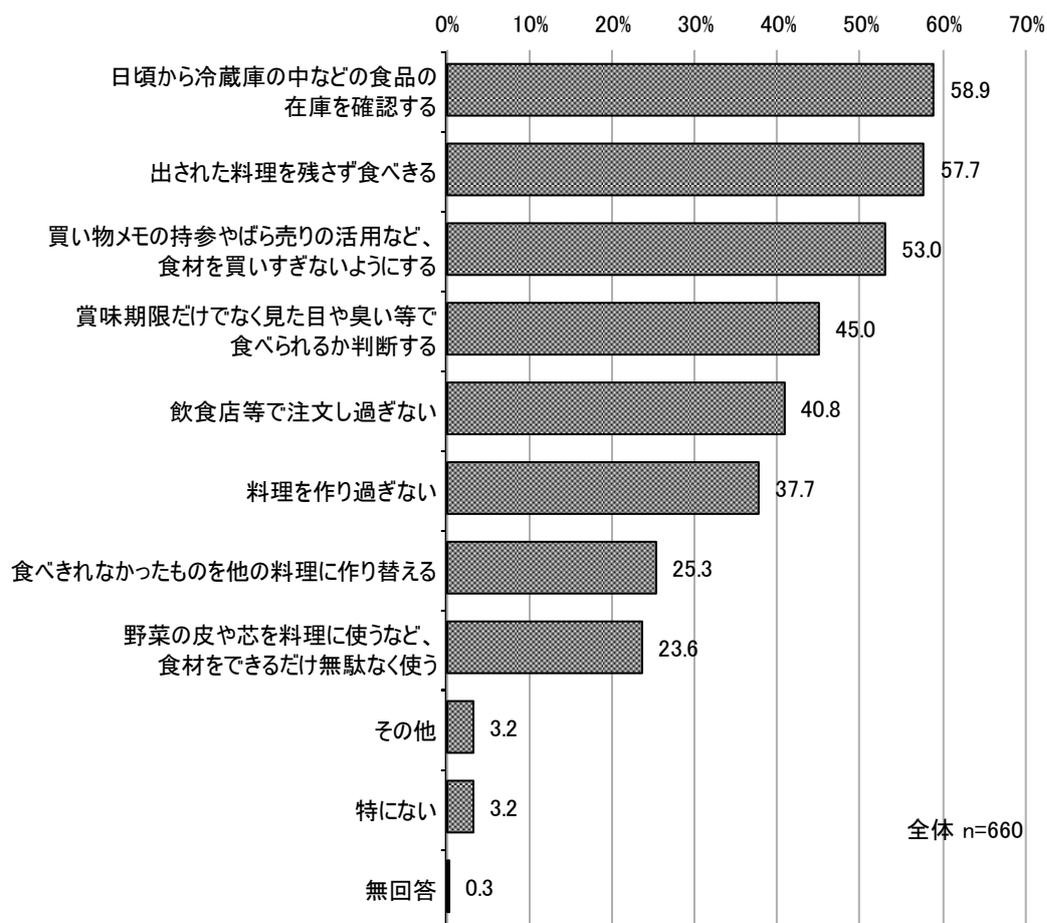
「食品ロス」への意識については、「常に意識している」、「たまに意識している」の合計値《意識している》が91.2%となっている。一方、「ほとんど意識していない」、「意識したことはない」の合計値《意識していない》が8.2%と、《意識している》が83.0ポイント上回っている。



(2)「食品ロス」を減らすための取り組み

問 20 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(いくつでも)

「食品ロス」を減らすための取り組みについては、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が 58.9%で最も高く、次いで「出された料理を残さず食べきる」が 57.7%、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」が 53.0%となっている。

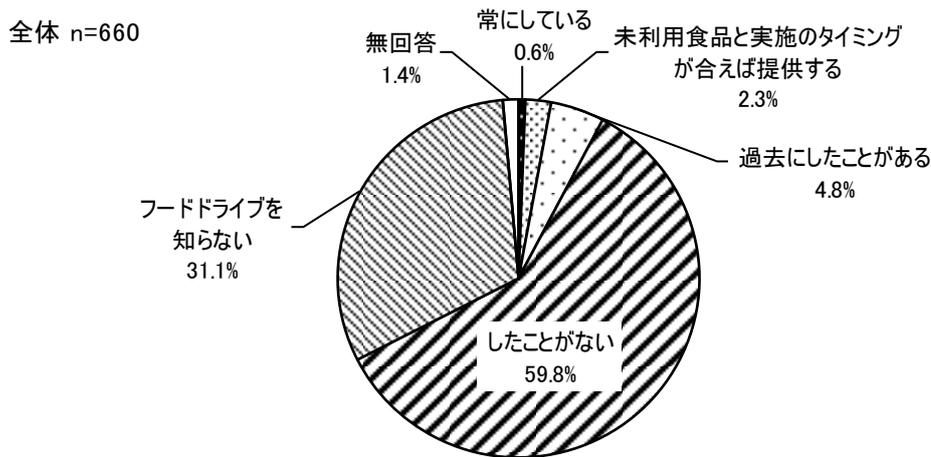


(3) フードドライブへの提供

問 21 フードドライブに提供したことがありますか。(1つのみ)

※ご家庭の未利用食品を、必要としている団体に提供することを、フードドライブといいます。

フードドライブへの提供については、「したことがない」が59.8%で最も高く、次いで「過去にしたことがある」が4.8%、「未利用食品と実施のタイミングが合えば提供する」が2.3%、「常にしている」が0.6%となっている。なお、「フードドライブを知らない」は31.1%となっている。

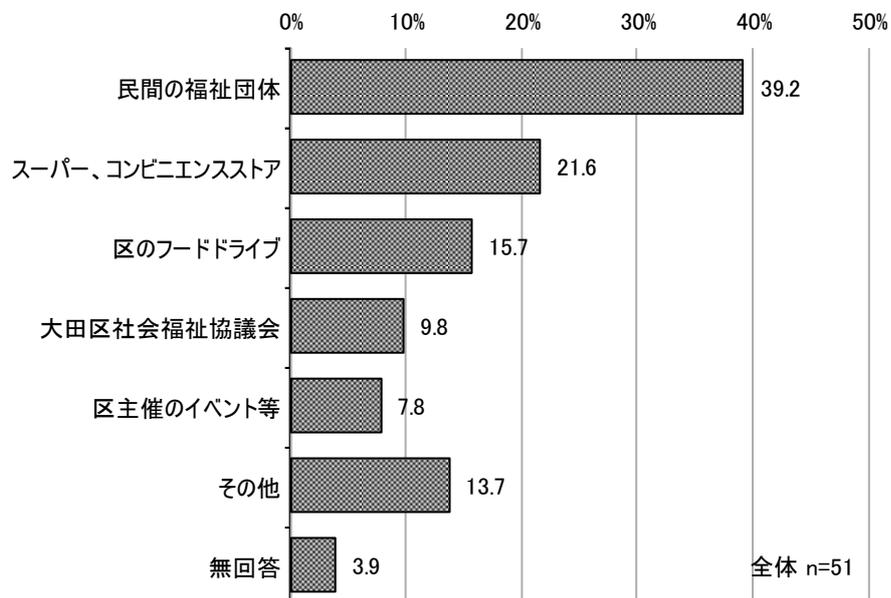


(4) 食品提供場所

【問 21 で「1 常にしている」「2 未利用食品と実施のタイミングが合えば提供する」「3 過去にしたことがある」と回答した方に伺います。】

問 21-1 食品をどこに提供しましたか。(いくつでも)

食品提供場所については、「民間の福祉団体」が39.2%で最も高く、次いで「スーパー、コンビニエンスストア」が21.6%、「区のフードドライブ」が15.7%となっている。

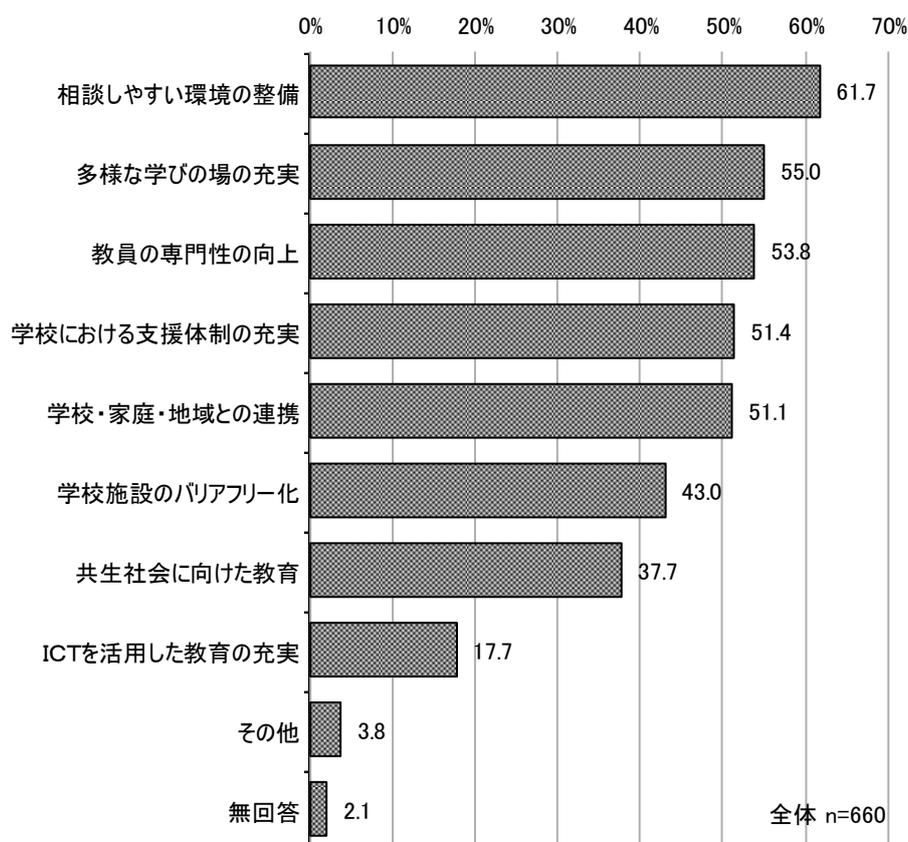


12 教育について

(1) 障がい児の学びを充実させるために重要なもの

問 22 障がいのある児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを充実させるために、重要だと思うものを選んでください。(いくつでも)

障がい児の学びを充実させるために重要なものについては、「相談しやすい環境の整備」が 61.7% で最も高く、次いで「多様な学びの場の充実」が 55.0%、「教員の専門性の向上」が 53.8% となっている。

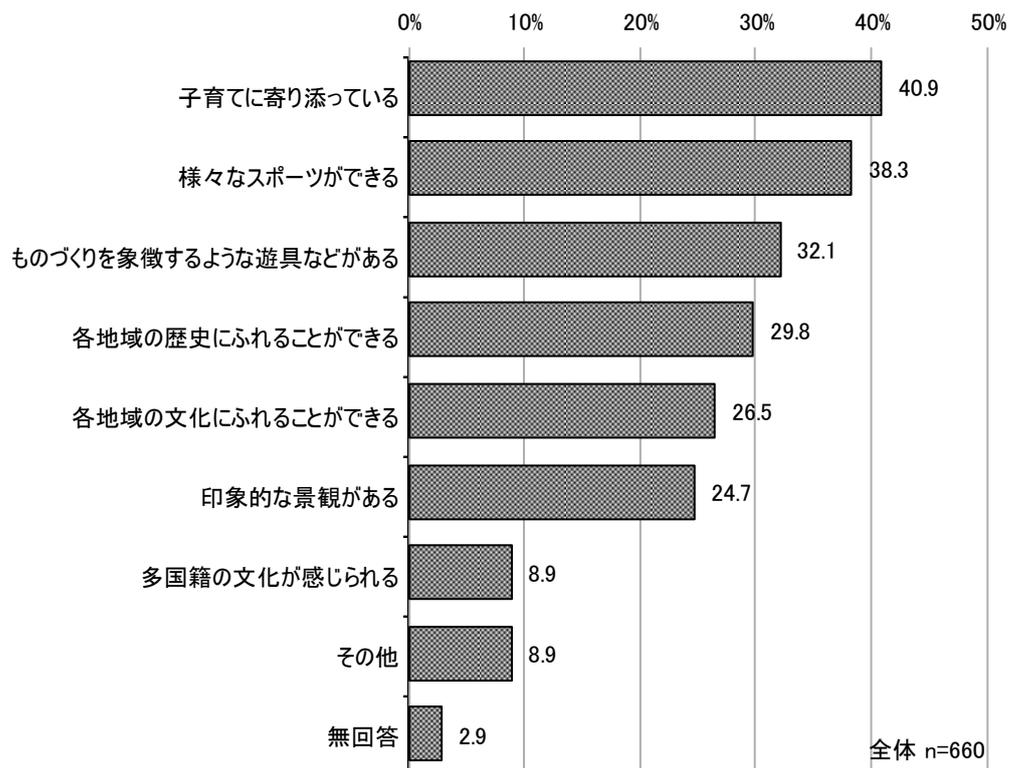


13 公園について

(1) 大田区らしいと感じる公園

問 23 大田区らしいと感じられる公園とはどんな公園ですか。(いくつでも)

大田区らしいと感じられる公園については、「子育てに寄り添っている」が40.9%で最も高く、次いで「様々なスポーツができる」が38.3%、「ものづくりを象徴するような遊具などがある」が32.1%となっている。



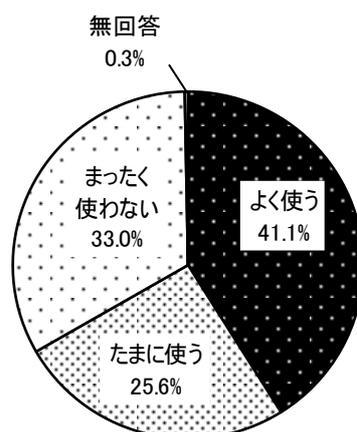
14 自転車について

(1) 自転車の利用状況

問 24 あなたは、普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況は、「よく使う」が41.1%で最も高く、次いで「まったく使わない」が33.0%、「たまに使う」が25.6%となっている。

全体 n=660

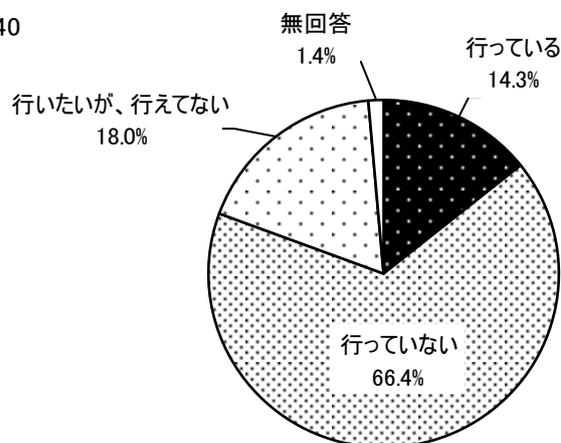


(2) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

問 25 あなたは、休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。(1つのみ)

普段自転車を「よく使う」または「たまに使う」と回答した方の、サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が66.4%で最も高く、次いで「行いたい、行えていない」が18.0%、「行っている」が14.3%となっている。

全体 n=440

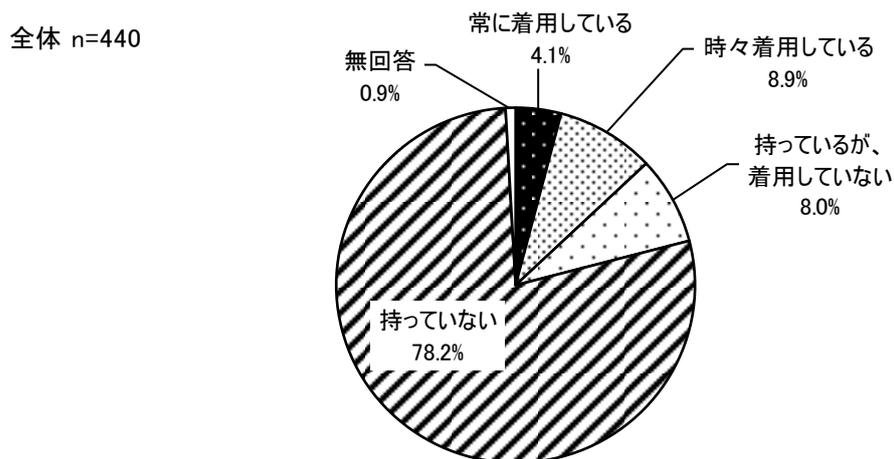


(3) ヘルメットの着用状況

問 26 あなたは、自転車に乗るとき、ヘルメットを着用していますか。(1つのみ)

普段自転車を「よく使う」または「たまに使う」と回答した方の、ヘルメットの着用状況については、「持っていない」が 78.2%で最も高く、次いで「時々着用している」が 8.9%、「持っているが、着用していない」が 8.0%、「常に着用している」が 4.1%となっている。

なお、「常に着用している」、「時々着用している」の合計値《着用している》は 13.0%となっている。

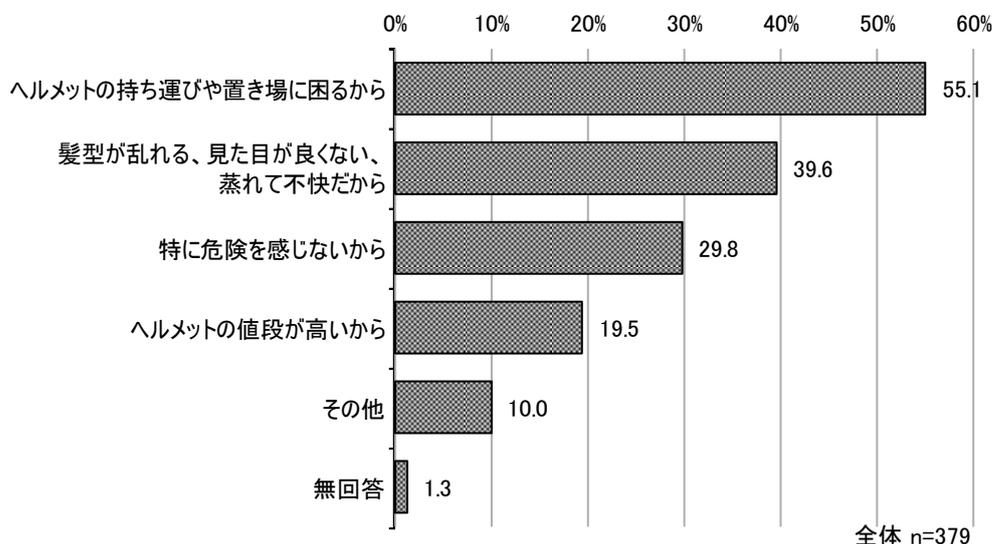


(4) ヘルメットを着用しない理由

【問 26 で「3 持っているが、着用していない」「4 持っていない」と回答した方に伺います。】

問 26-1 ヘルメットを持っていない、着用しない理由としてあてはまるものを選んでください。(いくつでも)

ヘルメットを着用しない理由については、「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が 55.1%で最も高く、次いで「髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから」が 39.6%、「特に危険を感じないから」が 29.8%、「ヘルメットの値段が高いから」が 19.5%となっている

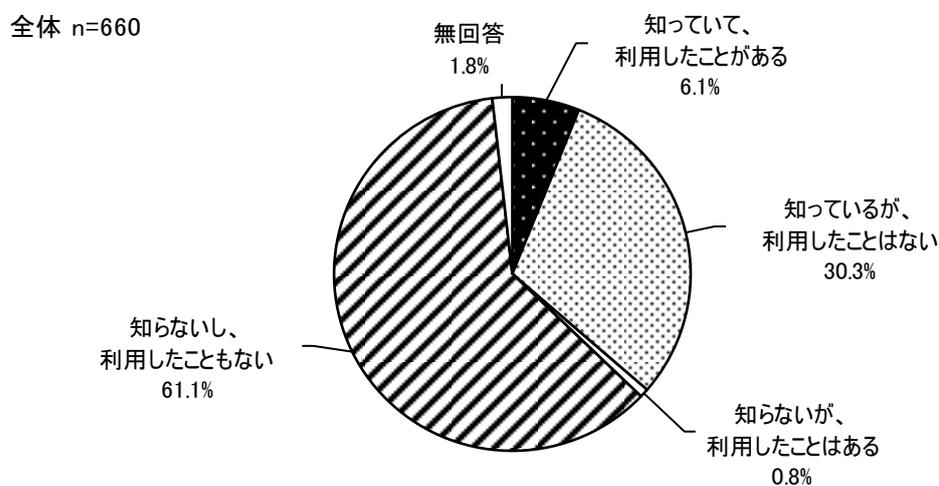


(5)「コミュニティサイクル」の認知度

問 27 大田区内で「コミュニティサイクル」を運営していることを知っていますか。また、利用したことはありますか。(1つのみ)

「コミュニティサイクル」の認知度については、「知っていて、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》は36.4%となっている。一方、「知らないが、利用したことはある」、「知らないし、利用したこともない」の合計値《知らない》は61.9%と、《知らない》が25.5ポイント上回っている。

なお、認知にかかわらず《利用したことがある》(「知っていて、利用したことがある」、「知らないが、利用したことはある」の合計値)は6.9%となっている。

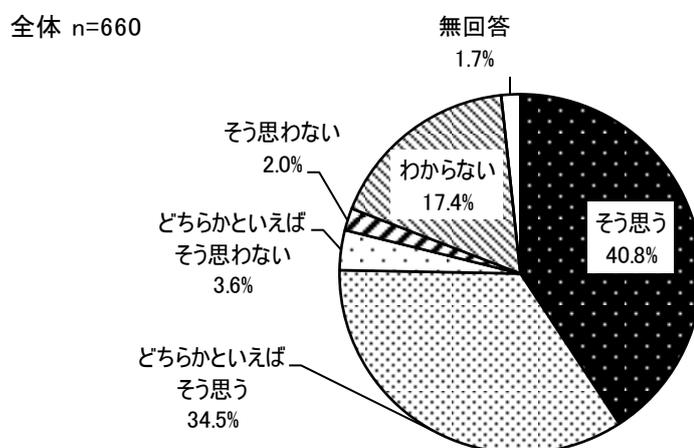


15 自治体経営について

(1) 公民連携

問 28 区は、公の持つ強み（地域におけるネットワーク力や広報力など）と民間企業等の持つ強み（独自のノウハウやスピード感など）を掛けあわせ、地域課題の解決などにつなげていく公民連携を進めています。公民連携の手法をより積極的に進めていくべきだと思いますか。（1つのみ）

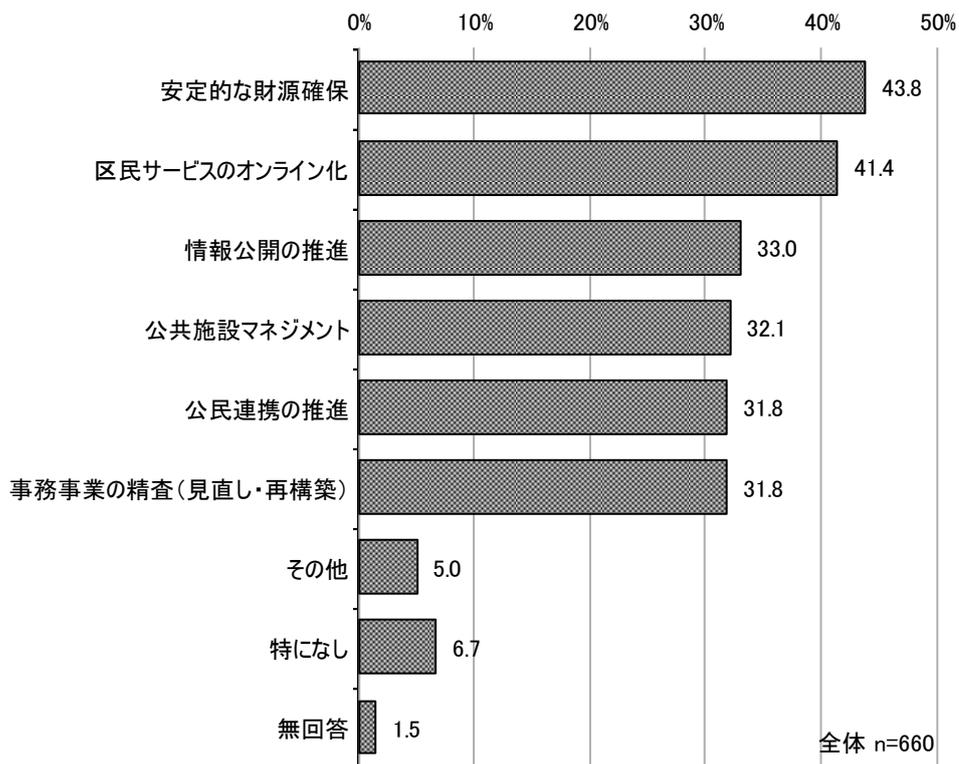
公民連携の手法をより積極的に進めていくべきかについては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《そう思う》が 75.3%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた《そう思わない》が 5.6%と、《そう思う》が 69.7ポイント上回っている。



(2) 力を入れていくべきこと

問 29 区は質の高い区民サービスを提供する、持続可能な自治体経営を進めています。
あなたが、今後さらに力をいれていくべきだと思うことは何ですか。(いくつでも)

力を入れていくべきことについては、「安定的な財源確保」が43.8%で最も高く、次いで「区民サービスのオンライン化」が41.4%、「情報公開の推進」が33.0%となっている。

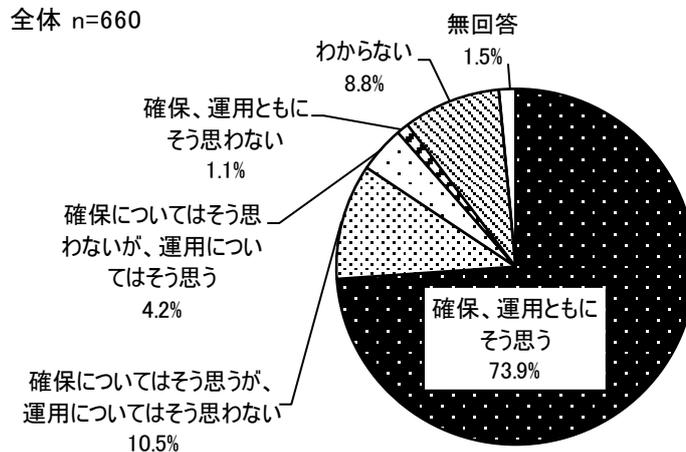


(3) 基金（貯金）の確保、運用

問 30 区は、税収が落ち込んだ時への備えや公共施設の更新、防災、福祉、子育て等の行政需要に対応するため、計画的に基金（貯金）を積み立て、活用しています。また、必要な事業が行われるまで、安全に資金運用し、区民福祉に還元できる財源をできる限り増やすよう努めています。

今後も将来に備え、基金（貯金）を確保、運用していくべきだと思いますか。（1つのみ）

基金（貯金）の確保、運用については、「確保、運用ともにそう思う」が73.9%で最も高く、次いで「確保についてはそう思うが、運用についてはそう思わない」が10.5%、「確保についてはそう思わないが、運用についてはそう思う」が4.2%、「確保、運用ともにそう思わない」が1.1%となっている。



令和6年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
概要版

令和6年12月発行
発行 大田区企画経営部企画課
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 (03) 5744-1444 (直通)
FAX (03) 5744-1502
